

年報

No.20

平成元年度

佐賀県立博物館

佐賀県立美術館

はじめに

平成元年度の博物館・美術館の事業概要をとりまとめました。当年度は博物館・美術館の開館以来19年目、6年目にあたります。当年は吉野ヶ里遺跡出土の特別展示もあって、入館者はこれまで最高の189,000名を記録しました。関係各位のご支援とご協力により、着実に成果を上げることが出来ましたことを深く感謝いたします。

博物館では、常設展「佐賀県の歴史と文化」をテーマに自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野で4期に分けて展示してまいりましたが、さらに活性化をはかるために各分野で小テーマを設け「小さな展覧会」を催しました。また、開かれた楽しい博物館をめざし、「博物館土曜教室」として定期的に講演会や体験学習会を行ってまいりました。特別企画展「タイムトラベル1990 九州横断道発掘成果展」は、県下を走る高速道路にかかる埋蔵文化財の発掘資料と、それに関連する参考資料を併せて展示し、その成果を全国的な視野から位置づけて大変好評でした。また、日本博物館協会が主催する博物館指導者研究協議会の庶務部門と歴史部門の研究会が当館で行なわれ、全国からの参加者があつて盛況でした。

美術館では「近代の美術・工芸」をテーマとした常設展で、本県出身の百武兼行、久米桂一郎、岡田三郎助などの洋画、古賀忠雄の彫塑、鍋島綏通、鍋島更紗、佐賀錦などの伝統工芸などを日本の近代美術の立場から関連資料と共に小テーマを設けて広い視野から紹介しました。

特別企画展は「鈴田照次—染色の旅—展」で、鈴田照次の研究歴を追って、作品の世界を広範囲にわたって紹介しました。また、共催事業として例年の「佐賀美術協会展」「佐賀県美術展」などのほか「イメージの巨匠、ピカソ石版画展」「近代絵画の歩み—佐賀の洋画家たち—展」「ドイツ、ロマン派絵画展」などがあり、いずれも盛況でした。

なお、当年度は森永惣吉氏から「森永家並びに森永羊羹関係資料」、高岸初二氏の「飯櫃製作用具一式」、松尾仁志氏の「貝の標本662種2650点」のほか、各位からご寄贈の資料があり、年々博物館・美術館の資料が充実していっていることに深く感謝いたします。

最後に、美術館ホール・画廊・研修室・茶室（清恵庵）もよく利用していました。今年度は博物館開催20周年の成人となる年を迎えるにあたります。今後は一層親しまれる博物館・美術館として充実をはかっていく所存でございますので、ますますのご指導とご支援をお願いいたします。

平成2年6月1日

佐賀県立博物館長 出 和人
佐賀県立美術館長

目 次

佐賀県立博物館

博物館の沿革	3
博物館日誌 平成元年度	4
規模および施設	5
組織・人事異動	5
職員名簿・博物館歳出予算 平成元年度	6
事業の実施状況	
1 平成元年度 博物館常設展	7
2 平成元年度 特別企画 タイムトラベル1990 —九州横断道発掘成果一展	13
3 企画展ならびにその他の展覧会 平成元年度	32
4 博物館観覧状況調べ 平成元年度	32
5 普及活動	34
6 資料調査	36
資料の概要—平成元年度・博物館—	
1 購入資料	37
2 寄贈資料	37
3 寄託資料	39
4 資料の貸出状況	40
5 購入・寄贈図書 —平成元年度 博物館・美術館共通—	41
茶室「清恵庵」の管理と運営の概況	42

佐賀県立美術館

美術館の沿革	43
美術館日誌 平成元年度	43
規模および施設	44
平成元年度 美術館算出予算	44
事業の実施状況	
1 平成元年度 美術館常設展	45
2 平成元年度 美術館新収蔵品	47
3 平成元年度 特別企画 鈴田照次 —染色の旅—展	56
4 企画展ならびにその他の展覧会 平成元年度	60
5 美術館観覧状況調べ 平成元年度	62
6 普及活動	64
7 資料調査	64
8 ホール・画廊・研修室催しもの	64
資料の概要—平成元年度・美術館—	
1 購入資料	66
2 寄贈資料	66
3 管理換資料	68
4 資料の貸出状況	68
佐賀県博物館及び美術館協議会	69
博物館・美術館職員名簿(平成2.4.1現在)	70

平成元年度

佐賀県立博物館

博物館の沿革

- 昭和26年4月1日 佐賀県文化館設置条例制定、佐賀県文化館が設置される。
- 昭和35年4月1日 佐賀県文化館設置条例を博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき佐賀県文化館を博物館として登録する。
- 昭和36年、新博物館建設の気運が高まり、41年度に調査費計上。
- 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和43年度に設計を委託し建設計画に着手し、昭和43年度から昭和45年度にわたる継続事業として建設することとなる。
- 昭和44年1月21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和45年3月31日 佐賀県文化館設置条例廃止。
- 昭和45年4月1日 佐賀県立博物館設置条例公布。佐賀県立博物館協議会条例公布。佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年7月1日 佐賀県立博物館完工。佐賀県立博物館設置条例施行。博物館開設準備事務局廃止。博物館職員の発令、館長以下18名。佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年7月16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月14日 佐賀県立博物館開館記念式典挙行。
- 昭和47年3月4日 鉄器減圧樹脂含浸装置を研究室に設置。
- 昭和48年10月10日 茶室「清恵庵」を、市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。茶室落成式。
- 昭和50年9月20日 古賀忠雄作「岬の男」(ブロンズ)前庭に据付完成。
- 昭和51年9月18日 皇太子殿下、同妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館。
- 昭和51年10月22日 天皇陛下、皇后陛下「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館。
- 昭和52年12月12日 佐賀藩鋳造鉄製「カノン砲」(復元)玄関前据付完了。
- 昭和53年5月4日 常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」ご観覧。
- 昭和53年11月5日 茶室「清恵庵」開室5周年記念合同茶会開催。出席者約1,500名。入館者総数100万名に達する。
- 昭和54年7月19日 古賀忠雄氏遺作(232点)遺族より寄贈。
- 昭和55年4月23日 山口猛彦氏遺作(34点)遺族より寄贈。
- 昭和56年4月17日 鍋島則子氏より工芸品(85点)寄贈。
- 昭和57年5月10日 御厨俊江氏より御厨純一氏の作品(28点)寄贈。
- 昭和58年2月7日 佐賀植物友の会(須古将宏会長)から植物腊葉(さくよう一おしば)18,000点の寄贈。
- 昭和61年3月17日 天皇陛下、「森林と文化展」ご観覧のためご来館。入館者総数200万名に達する。
- 昭和62年5月23日 木材恒久保存処理機 夕吹2000を導入。
- 昭和63年4月15日 過去最高の入館者数189,000名を記録(平成元年度の入館者数)
- 昭和63年8月31日 以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。
- 平成2年3月31日 ここには点数の特に多いもののみを記載しました。

博物館日誌 平成元年度

平成元年 4月 1日	職員人事異動 第1期常設展「佐賀県の歴史と文化」(～6月25日)
4月 8日	佐賀市制100周年記念事業・百年の歴史展(～4月23日)
4月28日	肥前の鎧展(～5月28日)
5月 5日	「子供の日」により常設展無料開館
5月 8日	博物館収蔵庫燻蒸(～10日)
5月20日	博物館土曜教室「肥前の鎧」講師・尾形善郎
6月 2日	古代の木器展(～6月25日)
6月 9日	大隈博文学芸員退職
6月10日	博物館土曜教室「弥生木器とその保存」講師・木下 巧
6月29日	第2期常設展「佐賀県の歴史と文化」(～10月22日)
6月29日	古賀家資料展(～7月30日)
7月 8日	博物館土曜教室「佐賀の近代農業—農具の変遷にみるー」 講師・山崎和文
7月12日	博物館学実習開講式(～7月21日)
7月22日	博物館土曜教室「佐賀藩のブレーン 古賀精里」 講師・小宮睦之
8月 4日	子供のための自然史展(～9月10日)
8月 5日	博物館土曜教室「佐賀県の蝶」 講師・宮崎武夫
9月13日	第21回佐賀県勤労者美術展(～9月17日)
9月28日	第39回佐賀県児童生徒理科作品展(～10月4日)
9月30日	博物館土曜教室「更紗のはなし」 講師・宮原香苗
10月17日	農協共催小・中学生 第15回交通安全ポスター展(～10月22日) 第25回書道展 (〃)
11月 3日	第39回佐賀県美術展覧会(～11月12日)
11月18日	第13回佐賀県高等学校芸術祭美術・書道展(～11月26日)
11月20日	佐賀県地形模型を改裝(博物館1号展示室)
12月 1日	第3期常設展「佐賀県の歴史と文化」(～1月15日) 時空を越える仏画の世界展 (〃)
12月16日	博物館土曜教室「仏画を描いた人々」 講師・竹下正博
12月28日	執務納め式
平成2年 1月 4日	執務始め式 「成人の日」により常設展無料開館
1月15日	タイムトラベル1990—九州横断道発掘成果展(～2月25日)
1月20日	企画展記念講演「東アジアの支石墓と墳丘墓」 講師 九州大学文学部教授・西谷 正
1月30日	消防避難訓練
2月17日	企画展記念講演「古墳出現の背景」 講師 奈良県立樞原考古学研究所副所長・石野博信
3月 2日	春を描く近世絵画展

規模および施設

本館

構造	鉄筋コンクリート造	3階建
規模	敷地面積	30,926m ²
	建築面積	2,149.1m ²
	延床面積	4,638m ²

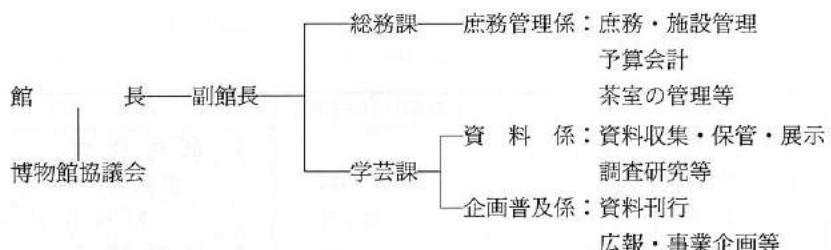
茶室

構造	木造平屋建
規模	床面積 57.35m ²

施設

ロビー (案内所・常設展受付)	349.5m ²
1号展示室	193.6m ²
2号展示室	352.0m ²
3号展示室	484.0m ²
大展示室	523.5m ²
中展示室 (博物館教室)	136.0m ²
収蔵庫並整理室	524.0m ²
研究室	66.0m ²
館長室・応接室	60.0m ²
事務室	80.0m ²
資料調査室	64.0m ²
茶道具庫	24.0m ²
車庫	56.0m ²
荷解場	86.0m ²
電気室	48.0m ²
ボイラー室 (制御室を含む)	181.0m ²
その他	1,410.4m ²

組織



人事異動 (平成元年4月1日付)

転入			転出		
副館長	井上昭利	国保援護課より	副館長	木下一義	出納局へ
資料係長	宮崎武夫	佐賀農業高校より	資料係長	田中裕	東松浦高校へ
庶務管理係長	古賀栄二	統計課より	庶務管理係長	赤坂一憲	西部福祉事務所へ
主事	古澤貞善	佐賀農芸高校より	主査	葛見稔	佐賀工業高校へ
			主事	中島恭助	神埼農業高校へ

博物館・美術館職員名簿(平成元年4月1日現在)

課名	職名	氏名	課名	職名	氏名
総務管理課	館長	出和人	芸芸企画普及係	学芸課長	小宮睦之
	副館長 (課長事務取扱)	井上昭利		資料係長	宮崎武夫
	副館長	尾形善郎		学芸員	松本誠一
	庶務管理係長	古賀栄二		学芸員	蒲原宏行
	主査	古川宣明		学芸員	大隈博文
	主査	楠美智子		非常勤嘱託	浜野四郎
	主事	古澤貞善		専門員 (係長事務取扱)	木下巧
	主事	石井康芳		主査 (学芸員)	宮原香苗
	事務員	坂井卓次		学芸員	福井尚寿
	事務員	小石武彦		学芸員	山崎和文
	技術員	戸川内匠	計 22名		
	非常勤嘱託	真子昭作			

博物館歳出予算 平成元年度

科目	予算額(単位千円)	科目	予算額(単位千円)
(博物館費)			
1 博物館運営費	40,544	4 企画展費	8,628
管理運営費	39,731	企画展開催費	8,578
会議及び研修費	432	理科作品展	50
博物館協議会費	381	5 常設展費	10,494
2 資料整備費	21,343	常設展示費	10,494
資料購入費	8,092	6 普及活動費	29
資料整理費	13,132	研究講座費	29
資料収集費	119	7 資料刊行費	468
3 調査研究費	794	8 茶室管理費	253
研究費	155	9 施設整備費	3,171
調査費	639	10 資料目録刊行費	1,587
次年度調査費	104		
歴史美術調査費	70		
考古資料調査費	30		
調査刊行費	435		
		計	87,311

事業の実施状況

1. 平成元年度 博物館常設展

第1期 4月1日～6月25日

第2期 6月29日～10月22日

第3期 12月1日～平成2年1月15日

第4期 3月2日～3月31日

I 佐賀県の自然（1号展示室）

佐賀県は九州の北西部に位置し、北東部は福岡県、西部は長崎県に隣接する。北は対馬暖流が北上する玄界灘に面し、南は日本一の干満の差で有名な有明海が広がっている。

佐賀県を地形的に大別すると、脊振山地、西部丘陵地、多良火山地、佐賀平野の四地域に分けられる。脊振山地は県北部に横たわる脊振山・金山・九千部山などの山地で、古生代末期の三郡變成岩類と、これに貫入した中生代白亜紀の花崗岩類で構成されている。西部丘陵地は八幡岳・黒髪山・国見山などを含む熔岩台地で、新生代第三紀の堆積岩類と、その上に噴出した第三紀末から第四紀初めの各種火山岩類で構成されている。玄界灘に面した北西海岸はリニア式海岸で、島嶼部は西部丘陵地熔岩台地の延長とみられる。多良火山地は、佐賀県最高峰の経ヶ岳・多良岳など第四紀初期に形成された安山岩質の成層火山と熔岩台地で構成されている。佐賀平野は新生代第四紀沖積世に、筑後川・嘉瀬川・六角川などによってつくられた複合三角州で、表層は沖積世の有明粘土層で下層は洪積世の堆積物が存在する。

佐賀県産の化石は新生代5000万年前以降にできた第三紀～第四紀の二枚貝・巻貝・オオムガイなどの軟体動物やサメの歯・ナウマンゾウ臼歯などの脊椎動物、メタセコイア・ハス・ヤナギ・珪化木などの植物の化石が産する。

動物では、シギ・チドリ・カモ類など多くの渡り鳥の飛来地・休息地として有明海は日本有数の地で、現在までに佐賀県から記録された野鳥は300種以上にのぼっている。県鳥カササギは、国の天然記念物として大切に保護されている。アリアケシラウオ・ヤマノカミ・ワラスボ・チクゴエビ・アリアケガニは有明海だけに棲む特産種であり、ムツゴロウは珍魚として有名であるが減少がはなはだしく県有明海水産試験場では人工交配の実験をてがけ養殖による増殖をてがけている。また「生きた化石」と呼ばれるオオシャミセンガイ・ミドリシヤミセンガイ・伊万里湾のカブトガニ、脊振山地・多良火山地のムカ

シトンボは地質時代の生き残り生物として有名である。

植物では、山岳地帯に常緑広葉樹林を主とした自然林も点在しているがほとんどは人工林である。代表的な自然林は、脊振山地のブナ林・多良火山地のモミ林、脊振山地・多良火山地・西部丘陵地のカシ林、玄界灘沿岸・島嶼部のタブ林などがある。佐賀県で発見された原産地植物としてはカネコシダ・クロカミラン・ハガクレカナワラビ・キュウシュウコゴメグサ・リュウゾウジヤナギ・クセンブツツヅジなどがあり、ミツガシワやエヒメアヤメは特筆できる。また、クヌキは佐賀を代表する樹木である。

① 佐賀県のおいたち

佐賀県地形模型、佐賀県の地質・地史

② 佐賀県の岩石

球状閃綠岩・花崗岩・石灰岩・火山弾 他

③ 佐賀県の化石

ヨコヤマオオムガイ・シキシマハス 他

④ 佐賀県の植物

クロカミラン・カネコシダ・アオホラゴケ 他

⑤ 佐賀県の昆虫類

チョウ・トンボ・カミキリムシ 他

⑥ 佐賀県の野鳥

カササギ・キジ・ヤマドリ・フクロウ 他

⑦ カブトガニの生態

⑧ 模型類

●有明海干潟生態模型

●エヒメアヤメ生態模型

●森林の生態模型

●森林の働きの模型

●タイラノザウルス模型 他

II 原始・古代の郷土（2号展示室）

旧石器時代・縄文時代

近年我が国の旧石器文化探求の勢いは目ざましく、10万年以前の前期旧石器文化の様相もかなり鮮明になりつつある。本県の資料は後期から終末期のものに限られるが、多久市鬼の鼻山（安山岩）や伊万里市腰岳（黒曜岩）などの石器素材原産地を中心に特色ある石器文化が展開している。

縄文時代も基本的には採集経済の社会であったが、石器とともに土器が用いられるようになり、人々の食生活は一層安定した。

① 石器を使った人々―旧石器時代―

常設展

- 石器に使用された原石
- 旧石器時代末期の各種石器
- ② 土器を使うくらし—縄文時代—
 - 縄文時代早～前期の土器と石器
 - 縄文時代中期の土器と石器
 - 縄文時代後～晩期の土器と石器

弥生時代・古墳時代

弥生時代になると水稻耕作中心の生産経済社会となり、各集落の統合・離反の中から、やがて部族国家が形成されてゆく。本県は特に大陸文化を受容し、それを日本化していく弥生文化播籠の地として重要な位置を占める。

古墳時代は前方後円墳に象徴される権力者の抬頭と統一国家形成が進展した政治的激動期であった。同時に須恵器生産や製鉄に代表されるような先進技術が多く渡来人によってもたらされた時代でもあった。

- ① 水稻農耕社会の発展—弥生時代—
 - 土器の変遷
 - 大陸系磨製石器
 - 青銅製武器から鉄製武器へ
 - 弥生人の装身具
 - 青銅の鏡（舶載鏡と仿製鏡）
 - 弥生人のまつり（銅鐸・青銅製武器形祭器）
- ② 古墳が築かれた頃—古墳時代—
 - 古墳時代前期の土器—土師器—
 - 古墳時代後期の土器—須恵器—
 - 古墳時代の鏡
 - 古墳時代の武器
 - 古墳時代の馬具
 - 古墳時代の装身具
 - 円筒埴輪
- ◎ 特別展示「吉野ヶ里遺跡」
有柄細形銅劍・ガラス製管玉・巴形銅器鋳型ほか120点を速報展示

4月1日(土)～8月31日(木)

III 上代・中世の郷土（2～3号展示室）

この時期の佐賀をものがたる資料としては、仏教の伝統を反映してか、仏像、仏画などの仏教美術が質量ともに豊富に残されている。そのうちでも仏画を中心を見てみると、朝鮮半島で制作された作品に優品が多く、地理的に密接な関係を持ち日鮮交渉のうえで独自な位置を占めていた佐賀に

ふさわしい。

わが国で制作された仏画で佐賀に残るものは、古刹妙覚寺の両界曼荼羅が最も古く鎌倉時代に遡る。白色顔料をまぜた朱や群青など中間色を多用して柔軟な姿と顔の仏を美しく描いている。また、神子栄尊が住持した大和町万寿寺には室町時代の十王図が伝存するなど、京都・奈良と関係の深い寺院に中世期の仏画が多く伝存するのも一つの特色である。

中世以降には浄土教の盛行とともに地獄・極楽図あるいは十王図などの六道思想を背景にした作品が多く見られるようになる。

このような佐賀の仏画の特色をふまえて、常設展第三期では「小さな展覧会—仏画—」と名づけて県内に伝存する作品を展示了。

出品作品

- 阿弥陀三尊像（館蔵 法隆寺金堂壁画模写）
- 両界曼荼羅（妙覚寺 鎌倉時代）
- 十王図（万寿寺 室町時代）
- 不動明王像（蓮嚴院 室町時代）
- 釈迦十六善神像（正法寺 江戸時代）
- 涅槃変相図（善定寺 江戸時代）
- 地獄・極楽図（淨泰寺 江戸時代）
- 二河白道図（淨泰寺 江戸時代）
- 紺紙銀字法華經（高麗時代）
- 法華經断簡（鏡神社 高麗時代）
- 白紙金字金剛般若波羅密多經（慶閻寺 高麗時代）
- 大般若經断簡（正法寺 平安時代）
- 法華經、經筒（山崎經塚出土 平安時代）

IV 近世のあゆみ（2号展示室）

豊臣秀吉による名護屋城の築城は、日本史上異例のことでの「肥前名護屋城図屏風」は城郭、風俗を知るうえでも貴重な史料である。これに前後して肥前は龍造寺氏から鍋島氏に政権が移り、現在の佐賀県は佐賀藩、唐津藩、対馬藩の領地（一部天領）に分かれる。なかでも佐賀藩は長崎警備に力を注ぎ、幕末では鉄製大砲、アームストロング砲の铸造に成功する。一方、「はがくれ」を生む風土の中に儒学、武芸が盛んとなり、藩校弘道館からは多くの人材を輩出し、近代日本の礎を築いた。

主要な展示資料は下記の通りである。

(1) 肥前の一統

龍造寺隆信・政家・高房画像、龍造寺隆信感状、紺糸威桶側二枚胴具足（伝隆信着用）大友親貞←

討取りの槍、鍋島直茂画像、同勝茂画像、鍋島直茂自筆書状、勝茂自筆書状など

(2) 肥前名護屋城の築城

肥前名護屋城図屏風、慶長の役陣立て、忠烈錄(朝鮮側史料)、朝鮮國礼曹諭告文など

(3) 長崎警備

長崎警備図屏風(宝永2年)、同屏風(正保4年)など

(4) 幕末の対外情勢

レザノフ来航図、フェートン号図、幕末の対外関係図など

(5) 鍋島直正の登場

鍋島直正肖像、鍋島直正書、忠宣公蘭艦乗込絵図(古川松根筆)、蝦夷開拓勅書など

(6) 反射炉の建造

大銃製造方絵図、公儀御石火矢鑄立方絵図、佐賀藩精煉方絵図(松齡筆)、カノン砲離型、精煉方研究調書原本訣書、精煉方使用ポンプ、精煉方実験用具、佐賀藩製造蒸気車離型、同蒸気船離型など

(7) 長崎海軍伝習所

長崎海軍伝習所の図、觀光丸模型、佐賀藩三重津海軍所の図など

(8) 藩政期の文教

はがくれの成立—山本常朝筆山水自賛画、葉隱写本(孝白本外)、鍋島光茂書状(乳母宛)、聖堂と藩校・寺子屋一天縱殿扁額、聖堂三体像、觀頤莊図、弘道館一古賀精里画像、古賀穀堂画像、弘道館教科書など

(9) 近世より近代へ

鍋島直正・島義勇・佐野常民・副島種臣・大木喬任・江藤新平・大隈重信・小笠原長行・小笠原長生などの書及び関係資料

V 肥前の近世工芸（3号展示室）

色彩鮮やかな肥前磁器の中から、柿右衛門様式の愛らしい色絵磁器、藩の保護を受けて最高の材料と選りすぐった技術で完成された鍋島藩窯様式の端麗な美を紹介するほか、土味も色合いもまったく異質な古唐津陶器と古伊万里磁器とを対比しての展示、肥前の大皿、大鉢を鍋島藩窯様式の尺皿をあわせて一堂に見るなど、陶磁器の世界への興味つきない。

染織では、鍋島藩の幕府献上品のひとつ、藩窯磁器と共に通する様式化された唐草文とりわけ蟹牡丹文に代表される鍋島綾通を二期にわたって展示した。

新春には「花・春・花」を主題に、陶磁器から、和更紗の屏風にあわせた漆器類、蒔絵の提重(サゲ

ジュウ)、董や土筆の描かれた煙草盆をならべて江戸の春に思いをはせてみた。

第1期：4月28日～6月25日

- ・陶磁器 柿右衛門様式と鍋島藩窯様式磁器
色絵花蝶八橋文壺
色絵桜樹文輪花形鉢
色絵菊牡丹図面取徳利
染錦双鶴図角皿
色絵龍唐草文陶板(個人蔵)
柿右衛門様式色絵倣製品13点(有田製含む)
色絵梅鶴図輪花皿
色絵破甕救児図八角皿(個人蔵)
色絵花更紗文皿
色絵菱更紗文皿
色絵唐花文向付(5客)
色絵芥子文皿
色絵牡丹唐花文皿
染付布袋葵図皿(5客・個人蔵)
染付菊繫文皿(5客・個人蔵)
- ・染織 鍋島綾通
鍋島綾通碑拓本 佐賀市嘉瀬町苗蓮寺
鍋島綾通 唐花文
鍋島綾通 唐草花文
鍋島綾通 蝶唐花文

第2期：6月27日～9月10日

- ・陶磁器 古唐津陶器と古伊万里様式磁器
二彩唐津衛門文大鉢
二彩唐津松絵水甕
二彩唐津松絵徳利
三島唐津象嵌花文鉢
象嵌雲鶴文鉢
叩き褐釉壺
絵唐津筈文壺
絵唐津柳文深向付
絵唐津輪文沓茶碗(寄託)
色絵風俗図徳利
染錦竹雀図輪花皿
染錦梅花欧字文手付瓶
染付花鳥図手付水注(寄託)
染錦松栂榴文深鉢
染錦美人樓閣図大皿
染錦風俗図面取壺(寄託)
- ・染織 鍋島綾通
鍋島綾通 蟹牡丹唐草文

常設展

- 鍋島綵通 蟹牡丹文
- 鍋島綵通 唐草花文
- 鍋島綵通 唐草花文（二疊物）

第3期：9月30日～10月22日

- ・鍋島更紗を訪ねて（美術館1号B展示室）
「鈴田照次一染色の旅」展にあわせて展示
鍋島更紗幔幕 牡丹鳳凰文
鍋島更紗秘伝書
鍋島更紗見本帖「さらさ屋兵右衛門」
鍋島更紗見本帖「茶羅紗楚女」
鍋島更紗蒲団 花木文（寄託）
鍋島更紗長着 花唐草文（寄託）
鍋島更紗端裂集より（一部個人蔵）

第4期：12月1日～1990年1月15日

- ・陶磁器 「大きな鉢・皿」
二彩唐津柳目文大鉢
二彩唐津山岳文大鉢
三島唐津象嵌花文鉢
三島唐津象嵌雲鶴文鉢
青磁草花文輪花鉢
染付樓閣山水文大鉢（九陶）
染付草花文大鉢（九陶）
染錦菊牡丹鳳凰図大鉢
染錦美人樓閣図大皿
染付芙蓉手唐人図大皿（九陶）
染付芙蓉手蓮池水禽文輪花盤・景德鎮窯（九陶）
染付世界地図絵大皿
染付日本地図絵大皿
染付花鳥文大皿（九陶）
染付夜梅図大皿（個人蔵）
染付滝松図大皿（個人蔵）
染付夜桜図大皿（個人蔵）
染付垣菊花図大皿（個人蔵）
染付鍋島藩窯絵図大皿（佐賀県重要文化財）
※（九陶）：佐賀県立九州陶磁文化館

第5期：1990年3月2日～4月15日

- ・陶磁器「花・春・花」のモチーフを主題に
染付松竹梅文筒茶碗
染付花蝶図皿
染付花蝶文皿
染付松梅文瓶 有田・天狗谷窯（寄託）
色絵亀甲花詰文角瓶
銘袖唐獅子牡丹文角瓶

- 色絵花蝶図輪花形深鉢（佐賀県重要文化財）
色絵菊牡丹図面取徳利
色絵花蝶八橋文壺
色絵岩牡丹図壺
色絵桜樹文輪花鉢
色絵梅鶴図輪花皿
色絵梅鶴図向付 マイセン窯（東独）
色絵花蝶図角向付・皿 景德鎮窯（中国）
色絵草花文輪花鉢
色絵梅鶴図桃形鉢 ボウ窯（英）
色絵花鳥図輪花皿 チェルシー窯（英）
色絵花蝶図輪花皿 マイセン窯（東独）
色絵松竹梅柴垣図皿 マイセン窯（東独）
色絵梅龍虎図角向付 中国素地・マイセン窯上絵
色絵竹梅散文梅形皿 マイセン窯（東独）
色絵鶴鶲図輪花皿 シャンティ窯（仏）
色絵花鳥柴垣図小瓶 有田素地・デルフト窯上絵
色絵花蝶図輪花形向付 シャンティ窯（仏）
色絵草花文水注 チェルシー窯（英）
色絵草花波濤文蓋物 シャンティ窯（仏）
色絵芥子文皿 鍋島藩窯

・漆器・和更紗

- 花鳥図高蒔絵硯箱 鹿島鍋島家贈
春草蒔絵煙草盆 鹿島鍋島家贈
花鳥宝尽文潤塗提重（寄託）
桜花御所車文蒔絵提重（寄託）
和更紗花鳥文屏風（寄託）

VI 近世絵画（3号展示室）

雲谷派の祖雲谷等顔、京狩野の代表的な画家狩野山雪は肥前の出身である。彼らの肥前領内での活動は知られていないものの、桃山から江戸前期にかけて、肥前にゆかりのある比較的多くの画人の存在が確認できる。その後、肥前のうち長崎においては、中国やオランダとの交渉により、黄檗派・南蘋派・南画派・洋風画派などが生まれ、日本絵画史上大きな影響を及ぼしたといえる。一方、佐賀藩・唐津藩における画壇は、必ずしも活発ではなく、主導的立場にあるべき御用絵師にしても、その系譜は断続的であった。しかし、幕末頃には、佐賀藩では大和絵・南画・写生画・浮世絵なども制作されるようになり、また西洋文化の積極的な移入により西洋絵画に対する理解も進み、日本での最初期の本格的洋画家百武兼行が登場する土壤が築かれた。

第1期（4月28日～6月25日）

- 加茂競馬図屏風 作者不詳 6曲1隻
17世紀・江戸 寄託
- 鍋島主水家人物肖像 大木英鉄 1幅
1664・寛文4 寄託
- 岩上鷹図 天龍道人 1幅 1791・寛政3
- 藻鯉図 天龍道人 1幅 1801・享和1
- 獅子図屏風 長沢蘆雪 6曲1隻
18世紀・江戸
- 竹図 草場佩川 1幅 19世紀・江戸
- 楠公父子訣別図並和歌屏風 古川松根
2曲1隻 19世紀・江戸

第2期（6月29日～9月10日）

- 山水図 伝狩野季政 1幅
16世紀・桃山 寄託
- 葡萄に鷹図 天龍道人 1幅 1805・文化2
- 仙人図 葛飾北斎 1幅 1842・天保13 寄託
- 月下兔図 柴田是真 1幅 19世紀・江戸
- 三愛図 古川松根 1幅 1870・明治3
- 梧桐図 中林梧竹 4曲1隻
20世紀・明治 寄託
- 竹図 中林梧竹 4曲1隻 20世紀・明治 寄託

第3期（3月2日～4月15日）

「春を描く近世絵画」

事物を四季の推移に即して捉えることは、日本文化の特色のひとつであるといえる。絵画では、平安時代以降、四季絵や月次絵と呼ばれる四季折々の一連の景物を主題とした絵画作品が制作された。

このような伝統をふまえ、風俗画が発展をとげた近世初期にいたり、特定の季節の景物に焦点を当てた絵画作品も盛んに制作されるようになり、江戸時代を通じて様々な作品が生まれた。

春を題材とした絵画作品の多くは、春を代表する花、桜が咲き誇る情景が描きこまれ、ひとときわ華やかなものがある。近世においては、大和絵系、漢画系、南画系、写生画、琳派、浮世絵など画風は一様でなく、たとえ同じ桜を題材にしても、そこでは多彩な表現が試みられている。

- 吉野山図屏風 作者不詳 6曲1双
17世紀・桃山 寄託
- 観桜図 作者不詳 6曲1双
17世紀・桃山 寄託

勿来閑図 小林文周 1幅

- 17世紀・江戸 個人
- 清水山見瀧寺縁起図 作者不詳 1幅
1656年・明暦2 小城町・宝地院
- 河上図 小原有閑 1幅 17世紀・江戸 寄託
- 河上図 成富椿屋 1幅 19世紀・明治 寄託
- 桜下遊楽図 宮川長春 1幅
18世紀・江戸 寄託
- 立雛図 酒井抱一 1幅 19世紀・江戸 個人
- 花卉図 椿椿山 1幅 1849年・嘉永2 個人
- 竹図屏風 草場佩川 6曲1双
1860年・萬延元年 個人
- 四季の花図 柴田是真 1幅 19世紀・江戸
- 桜月図 古川松根 1幅 19世紀・江戸
- 京都風景図巻 古川松根 1巻 19世紀・江戸
- 写生図巻 古川松根 1巻 1870年・明治3
- 桜下美人図 岸 天岳 1幅
19世紀・江戸一明治

VII 近代の書（3号展示室）

近代は、書においても芸術性の追求が盛んに行われた時期である。本県関係では、明治の元勲副島種臣（滄海）や、当時「銀座の書聖」と呼ばれた中林梧竹、唐津藩医の子として江戸で生まれた西川春洞が能書家として有名である。

第1期（4月28日～6月25日）

- 漢詩屏風 中林梧竹 6曲1双
20世紀・明治 寄託
- 二行書 副島種臣 1幅 1880・明治13 寄託
- 「魚父辞」二行書 副島種臣 1幅
19世紀・明治 寄託
- 七言絶句三行書 副島種臣 1幅
1902・明治35 寄託
- 書額「宏濟閣」 副島種臣 1面
19世紀・明治 寄託

第2期（6月29日～9月10日）

- 十七帖臨書屏風 中林梧竹 6曲1双
1900・明治33 寄託
- 七言絶句「湊川」 副島種臣 1幅
19世紀・明治 寄託
- 七言絶句・杜甫詩「漫成」 副島種臣 1幅
1885・明治18
- 書額「帰雲飛雨」 副島種臣 1面
19世紀・明治 寄託

常設展

書額「宏濟閣」 副島種臣 1面
19世紀・明治 寄託

第3期(12月1日～1月15日)

漢詩屏風 中林梧竹 6曲1双
20世紀・明治 寄託

杜甫詩「蜀相」屏風 副島種臣 6曲1隻
1892・明治25 寄託

書額「宏濟閣」 副島種臣 1面
19世紀・明治 寄託

(3月2日～4月15日)

五言絶句貼合せ屏風 中林梧竹 6曲1双
20世紀・明治 寄託

書額「宏濟閣」 副島種臣 1面
19世紀・明治 寄託

VIII 郷土の民俗(大展示室)

郷土の民俗では、歴史を民俗学的視野から概観できるよう試みている。

とくに、国の重要有形民俗文化財に指定されている有明海漁撈具は内容・量ともに充実しており幕末から明治初頭にかけての作と思われる「有明海漁撈実況図」(松田房晃・全23図)と共に、有明海の漁撈習俗を十分に知ることができる。また有明海関係の資料として昭和42年7月1日の狩猟法改正の時期まで使用されていた鴨銃とその弾丸製作工程は、当時の有明海における狩猟の状況を知ることが可能と言えよう。

農業関係の資料としては、明治・大正年間の佐賀のクリーク(堀)農業を特徴づける各種農具があり、佐賀農業の発展を願う農民の強い意志がうかがわれ、様々な工夫がなされていることも知ることができる。

その他、鳥栖市田代を中心とした製薬・売薬関係資料、東松浦郡相知町横枕の大甕製作用具、小川島での捕鯨を中心とした玄海の漁撈具等が、佐賀の民俗を特徴づけている。

- ① 佐賀の住まい
 - 民家模型(クド造り・ジョウゴ造り)
 - 収納家具 ○あかり
- ② 佐賀農業の歩み
 - 耕作用具 ○泥土揚げ用具 ○管理用具
 - 収穫用具 ○脱穀調整用具 ○藁加工用具
- ③ 有明海の漁業
 - 干潟漁業と用具 ○貝養殖と採捕用具
 - 鴨銃 ○船で使う生活用具

④ 玄海の捕鯨

- 明治以降の捕鯨用具
- 肥前国産物図考捕鯨の図写真パネル
- 勢子船・双海船模型
- ⑤ 相知町横枕の大甕づくり(韓国の製陶用具)
- ⑥ 肥前配置壳藻関係資料
- ⑦ 手すき和紙製作用具

小さな展覧会(博物館3号展示室)

展覧会名	会期
肥前の鎧展	4月28日～5月28日
古代の木器展	6月2日～6月25日
古賀家資料展	6月29日～7月30日
子供のための自然史展	8月4日～9月10日
時空を越える仏画の世界展	12月1日～1月15日
春を描く近世絵画展	3月2日～4月15日

2. 平成元年度 特別企画 タイムトラベル1990 —九州横断道発掘成果一展

主 催 佐賀県教育委員会・佐賀県立博物館
会 期 平成2年1月20日(土)～2月25日(日)
会 場 佐賀県立博物館2号・3号展示室
観覧料 大人 510円(410円)
大・高生 250円(150円)
中・小生 150円(100円)

()内は20名以上の団体料金

図録 B5版 アート紙165頁(カラー16頁)

入館者数 3279人

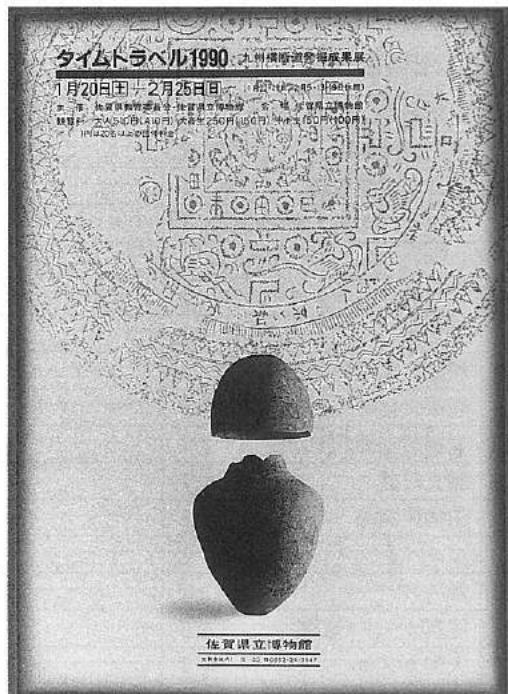
展示概要

佐賀県は昭和52年以来、九州横断自動車道の建設に先立ち、予定路線内の埋蔵文化財の発掘調査を実施してきた。その間佐賀市久保泉丸山遺跡の発見やその全面移設などさまざまな話題を提供してきたが、平成元年3月、12年間におよぶこの未曾有の調査事業も無事終結をみた。本展覧会はこれを機にその成果を総括し、あわせて県内外の関連資料の展示により全国的視野からその位置付けを図ったものである。出展資料は旧石器時代から明治時代にまでわたり、地域的にも県東端から西端まで各地域の特色をよく反映したものになった。また導入展示として紹介した発掘届の様式や発掘・整理機材なども埋蔵文化財行政に対する一般の理解を得る一助となったようである。

展示構成

九州横断道と埋蔵文化財
旧石器の石器製作所
縄文のくらし
縄文から弥生へ
弥生のくらし
弥生から古墳へ
古墳の時代
肥前国の成立
中世のくらし
肥前陶磁の生産と消費

記念講演会 2回開催(34頁参照)



ポスター



図録

出 品 資 料 目 錄 (パネル等の展示補助資料は除く)

1. 九州横断道と埋蔵文化財

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 �藏・保管者
1	横断道路線図	1			佐賀県教育委員会
2	佐賀県遺跡地図	2			〃
3	ボーリングステッキ(大)	1			〃
4	〃 (小)	1			〃
5	クリノメーター	1			〃
6	巻 尺	1			〃
7	埋蔵文化財発掘通知	5			〃
8	埋蔵文化財発掘調査通知	5			〃
9	発掘調査委託契約書	1			〃
10	調査日誌	2			〃
11	遺構実測図	1			〃
12	コンベックス	1			〃
13	錘	1			〃
14	写真カード(遺構)	3			〃
15	大型カメラ	1			〃
16	フィールドノート	4			〃
17	遺物実測図登録台帳	1			〃
18	遺物実測図	1			〃
19	三角定規	1			〃
20	ディバイダー	1			〃
21	キャリパー	1			〃
22	鉛 筆	1			〃
23	マーコ	1			〃
24	ネガアルバム	1			〃
25	写真カード(遺物)	2			〃
26	土器片	6			〃
27	土器(接合・復元時)	1			〃
28	土器(着色後)	1			〃
29	接着剤	1			〃
30	ピンチ	1			〃
31	パレットナイフ	1			〃
32	ラバーポール	1			〃
33	ポスターカラー	1			〃
34	筆	1			〃
35	横断道関係調査報告書	10			〃
36	〃 調査概報	11			〃

2. 旧石器の石器製作所

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
37	ヤベオオツノジカ全身骨格(複製)	1	宇部興産伊佐工場ほか	山口県美祢市ほか	山 口 県 立 博 物 館

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 �藏・保管者
38	ナウマン象牙化石	1	瀬戸内海諸島水道		佐賀県立博物館(個人蔵)
39	カトウキヨマサジカ頭骨化石	1	〃		〃 (〃)
40	ナウマン象大臼歯化石(複製)	1	唐津湾海底	佐賀県唐津市	〃
41	尖頭器	1	多摩ニユータウン No.471-B 遺跡(上層)	東京都稻城市	東京都埋蔵文化財センター
42	楔形石器	1	〃	〃	〃
43	削 器	1	〃	〃	〃
44	小剝離痕を有する剝片	5	〃	〃	〃
45	敲 石	1	〃	〃	〃
46	石 核	1	〃	〃	〃
47	ヘラ形石器	1	多摩ニユータウン No.471-B 遺跡(下層)	〃	〃
48	加工痕を有する剝片	1	〃	〃	〃
49	小剝離痕を有する剝片	1	〃	〃	〃
50	ナイフ形石器	16	郡家今城遺跡	大阪府高槻市	高槻市埋蔵文化財センター
51	翼状剝片	9	〃	〃	〃
52	翼状剝片石核	2	〃	〃	〃
54	ナイフ形石器	15	狸谷遺跡(VII層)	熊本県球磨郡山江村	熊本県教育委員会
55	搔 器	3	〃	〃	〃
56	磨石・敲石	2	〃	〃	〃
57	台 石	1	〃	〃	〃
58	石 核	1	〃	〃	〃
59	彫 器	1	〃	〃	〃
60	揉錐器	1	〃	〃	〃
61	ナイフ形石器	16	狸谷遺跡(V層)	〃	〃
62	角錐状石器	3	〃	〃	〃
63	搔 器	3	〃	〃	〃
64	石 核	3	〃	〃	〃
65	旧石器人頭骨(複製)	1	港川遺跡	沖縄県島尻郡具志頭村	長崎大学
66	ナイフ形石器・彫器	26	老松山遺跡	佐賀県小城郡三日月町	佐賀県教育委員会
67	角錐状石器	52	〃	〃	〃
68	角錐状石器素材・未成品	9	〃	〃	〃
69	両面加工尖頭器	11	〃	〃	〃
70	削 器	10	〃	〃	〃
71	石 核	12	〃	〃	〃
72	剝片尖頭器・ナイフ形石器	12	山王遺跡	佐賀県多久市	〃
73	台形石器	14	〃	〃	〃
74	尖頭器	80	〃	〃	〃
75	角錐状石器	33	長尾開拓遺跡	〃	〃
76	尖頭器	5	〃	〃	〃
77	ナイフ形石器	46	馬部甚蔵山遺跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
78	台形石器	10	〃	〃	〃
79	彫 器	17	〃	〃	〃
80	敲石・磨石	2	〃	〃	〃
81	局部磨製石斧	1	〃	〃	〃

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
82	石 核	9	馬部甚蔵山遺跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
83	細石核	9	石ヶ元下道遺跡	〃	〃
84	細石刃	72	〃	〃	〃
85	ナイフ形石器・翼状剝片	15	船 塚 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	神埼町教育委員会
86	剝片尖頭器	9	〃	〃	〃
87	石 核	3	〃	〃	〃
88	接合石核	7	磯 道 遺 跡	佐賀県東松浦郡肥前町	肥前町教育委員会

3. 繩文のくらし

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
89	縄文土器 甕	1	柏原 F 遺跡	福岡県福岡市	福岡市埋蔵文化財センター
90	〃 甕	1	切 烟 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	佐賀県教育委員会
91	〃 甕	14	香 田 遺 跡	佐賀県三養基郡中原町	〃
92	〃 甕	1	久保泉丸山遺跡	佐賀県佐賀市	〃
93	〃 甕	1	大久保三本松遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
94	〃 甕	1	疊 石 B 遺跡	〃	〃
95	〃 甕	12片	〃	〃	〃
96	〃 甕	11片	〃	〃	〃
97	〃 甕	1	阿 高 貝 塚	熊本県下益城郡城南町	城南町歴史民俗資料館(個人蔵)
98	〃 鉢	4	久保泉丸山遺跡	佐賀県佐賀市	佐賀県教育委員会
99	〃 甕	2	下 石 動 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
100	〃 鉢	1	太 郎 追 遺 跡	熊本県飽託郡北部町	熊本市立熊本博物館
101	〃 甕	1	大 門 西 遺 跡	佐賀県佐賀市	佐賀県教育委員会
102	〃 鉢	1	〃	〃	〃
103	〃 注口土器	2	金 立 開 拓 遺 跡	〃	〃
104	〃 鉢	1	〃	〃	〃
105	〃 浅鉢・甕	1	藤 附 A 遺 跡	〃	〃
106	〃 甕	1	金 立 開 拓 遺 跡	〃	〃
107	〃 甕	1	上 南 部 遺 跡	熊本県熊本市	熊本市立熊本博物館
108	〃 浅鉢	1	〃	〃	〃
109	〃 甕	1	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村 佐賀県三養基郡上峰町	佐賀県教育委員会
110	〃 浅鉢	1	鈴 熊 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
111	〃 甕	1	〃	〃	〃
112	〃 甕	1	久保泉丸山遺跡	〃	〃
113	〃 鉢	4	〃	〃	〃
114	〃 鉢	1	撰 分 遺 跡	佐賀県多久市	〃
115	円盤形土製品	3	金 立 開 拓 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
116	〃	2	香 田 遺 跡	佐賀県三養基郡中原町	〃
117	土 锤	3	〃	〃	〃
118	土 偶	1	久保泉丸山遺跡	佐賀県佐賀市	〃
119	土 版	1	鈴 熊 遺 跡	〃	〃
120	十字形石製品	2	金 立 開 拓 遺 跡	〃	〃
121	軽石製品	1	〃	〃	〃

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
122	石錐	1	金立開拓遺跡	佐賀県佐賀市	佐賀県教育委員会
123	石錐	1	〃	〃	〃
124	石刃	7	〃	〃	〃
125	尖頭器	1	〃	〃	〃
126	砥石	1	〃	〃	〃
127	磨石	4	〃	〃	〃
128	打製石斧	2	〃	〃	〃
129	磨製石斧	7	〃	〃	〃
130	搔器	14	〃	〃	〃
131	〃	29	〃	〃	〃
132	石鏃	12	〃	〃	〃
133	〃	59	〃	〃	〃

4. 繩文から弥生へ

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
134	縄文土器 彩文小型壺	1	菜畑遺跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
135	〃 小型壺	1	〃	〃	〃
136	〃 壺	1	〃	〃	〃
137	〃 浅鉢	3	〃	〃	〃
138	諸手鍬(複製)	1	〃	〃	佐賀県立博物館
139	えぶり(〃)	1	〃	〃	〃
140	豎杵(〃)	1	〃	〃	〃
141	短弓(〃)	1	〃	〃	〃
142	扁平片刃石斧	2	〃	〃	唐津市教育委員会
143	抉入石斧	1	〃	〃	〃
144	磨製石鏃	1	〃	〃	〃
145	磨製石劍	1	〃	〃	〃
146	石庖丁	1	〃	〃	〃
147	チャート製異形垂飾	1	〃	〃	〃
148	土製勾玉	1	〃	〃	〃
149	石製小玉	1	〃	〃	〃
150	硬玉製勾玉	1	〃	〃	〃
151	碧玉製勾玉	1	〃	〃	〃
152	硬玉製垂飾	1	〃	〃	〃
153	蛇紋岩製管玉	2	〃	〃	〃
154	硬玉製管玉	1	〃	〃	〃
155	珪質頁岩製管玉	1	〃	〃	〃
156	碧玉製管玉	7	〃	〃	〃
157	滑石製垂飾	2	〃	〃	〃
158	〃 管玉未製品	1	〃	〃	〃
159	土製紡錘車	2	〃	〃	〃
160	犬齒製垂飾	1	〃	〃	〃
161	サメ齒製垂飾	1	〃	〃	〃

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 �藏・保管者
162	サメ脊椎骨製垂飾	1	菜 烟 遺 跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
163	ブタ下顎骨	1	〃	〃	〃
164	炭化米	5	〃	〃	〃
165	孔雀石製勾玉	2	礫 石 A 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	佐賀県教育委員会
166	土製勾玉	1	〃	〃	〃
167	碧玉製管玉	11	〃	〃	〃
168	縄文土器 大型壺	3	〃	〃	〃
169	〃 薫	3	〃	〃	〃
170	〃 大型壺	1	礫 石 B 遺 跡	〃	〃
171	〃 薫	1	〃	〃	〃
172	〃 小型壺	1	〃	〃	〃
173	弥生土器 大型壺	1	〃	〃	〃
174	〃 薫	1	〃	〃	〃
175	〃 小型壺	2	〃	〃	〃
176	〃 鉢	1	〃	〃	〃
177	碧玉製管玉	1	〃	〃	〃
178	縄文土器 大型壺	2	久保泉丸山遺跡	佐賀県佐賀市	〃
179	〃 小型壺	3	〃	〃	〃
180	〃 異形壺	1	〃	〃	〃
181	〃 高杯	1	〃	〃	〃
182	〃 薫	1	〃	〃	〃
183	〃 鉢	1	〃	〃	〃
184	弥生土器 大型壺	3	〃	〃	〃
185	〃 小型壺	3	〃	〃	〃
186	緑色片岩製管玉	1	〃	〃	〃
187	土製管玉	2	〃	〃	〃
188	土製紡錘車	3	〃	〃	〃
189	縄文土器 大型壺	2	香 田 遺 跡	佐賀県三養基郡中原町	〃
190	〃 小型壺	3	〃	〃	〃
191	〃 高杯	1	〃	〃	〃
192	〃 大型壺	1	寺 浦 瓦 窯 跡	佐賀県小城郡小城町	〃
193	〃 薫	1	〃	〃	〃
194	石庖丁	1	西 原 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
195	縄文人頭骨	1	脇 岬 遺 跡	長崎県西彼杵郡母崎町	長崎大学
196	〃 復顔模型	1	〃	〃	〃
197	西北九州型弥生人頭骨	1	深 堀 遺 跡	長崎県長崎市	〃
198-1	北部九州型弥生人頭骨	1	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村 佐賀県三養基郡上峰町	〃
198-2	〃	1	志波屋六本松乙遺跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
199	〃 復顔模型	1	詫 田 西 分 遺 跡	佐賀県神埼郡千代田町	〃

5. 弥生のくらし

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
200	弥生土器 薫棺	1	礫 石 A 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	佐賀県教育委員会

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
201	弥生土器 瓢棺	1	西 石 動 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
202	〃 瓢棺	1	志波屋六本松遺跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
203	〃 瓢棺	1	朝 日 北 遺 跡	〃	〃
204	〃 瓢棺	1	六 本 黒 木 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
205	〃 瓢棺	1	金 立 開 拓 遺 跡	〃	〃
206	〃 瓢	4	久 池 井 C 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
207	〃 鉢	1	〃	〃	〃
208	土製紡錘車	1	〃	〃	〃
209	弥生土器 瓢	2	下 石 動 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
210	〃 壺	1	〃	〃	〃
211	抉入片刃石斧	1	〃	〃	〃
212	磨製石劍未成品	1	〃	〃	〃
213	弥生土器 瓢	1	切 烟 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
214	〃 鉢	1	〃	〃	〃
215	〃 長頸壺	1	〃	〃	〃
216	土 弹	100~	〃	〃	〃
217	弥生土器 壺	2	大 門 西 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
218	〃 瓢	1	〃	〃	〃
219	磨製石斧	1	〃	〃	〃
220	石庖丁片	2	〃	〃	〃
221	磨製石鎌	1	〃	〃	〃
222	柱状片刃石斧	3	撰 分 遺 跡	佐賀県多久市	〃
223	石庖丁	2	〃	〃	〃
224	石製紡錘車	1	〃	〃	〃
225	弥生土器 壺	1	西山田二本松遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
226	〃 瓢	2	〃	〃	〃
227	〃 鉢	1	〃	〃	〃
228	〃 支脚	1	〃	〃	〃
229	〃 手づくね土器	1	〃	〃	〃
230	土製スプーン	1	〃	〃	〃
231	砥 石	1	〃	〃	〃
232	銅 鈎	1	〃	〃	〃
233	鉄 鏃	1	〃	〃	〃
234	鎚	1	〃	〃	〃
235	ガラス製小玉	1連	西山田三本松遺跡	〃	〃
236	石製勾玉	1	〃	〃	〃
237	ガラス製垂飾	1	〃	〃	〃
238	碧玉製管玉	1	〃	〃	〃
239	石製管玉	1	〃	〃	〃
240	土製紡錘車	1	〃	〃	〃
241	石庖丁	1	〃	〃	〃
242	銅 鈎	3	布 施 ヶ 里 遺 跡	佐賀県小城郡小城町	小城町教育委員会
243	絹布片	1	朝 日 北 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	佐賀県教育委員会

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 �藏・保管者
244	鉄 剣	1	志波屋六本松乙遺跡	佐賀県神埼郡神埼町	佐賀県教育委員会
245	ガラス製小玉	6	東山田一本杉遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
246	碧玉製管玉	3	〃	〃	〃
247	銅劍切先	1	〃	〃	〃
248	鉈	1	山 古 賀 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
249	鉄 剣	1	〃	〃	〃
250	〃	1	久 池 井 C 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
251	ガラス製小玉	2	礫 石 B 遺 跡	〃	〃
252	鉄 鏃	1	〃	〃	〃
253	小型仿製鏡	1	〃	〃	〃
254	弥生土器 長頸壺	1	〃	〃	〃
255	有柄細形銅劍	1	吉 野 ケ 里 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町 佐賀県神埼郡三田川町	〃
256	細形銅劍	4	〃	〃	〃
257	把頭飾	1	〃	〃	〃
258	ガラス製管玉	48	〃	〃	〃
259	イモガイ製貝釧	1	〃	〃	〃
260	ゴホウラガイ製貝釧	4	〃	〃	〃
261	SJ1002甕棺 遺物出土状況(複製)	1	〃	〃	〃
262	弥生土器 筒型器台	1	利 田 柳 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
263	〃 壺	1	〃	〃	〃
264	〃 広口壺	1	〃	〃	〃
265	〃 高杯	1	〃	〃	〃
266	〃 筒型器台	1	本 分 貝 塚 遺 跡	佐賀県三養基郡三根町	佐賀県立博物館
267	〃 筒型器台	1	宝 満 谷 遺 跡	佐賀県三養基郡北茂安町	佐賀県教育委員会
268	〃 筒型器台	1	川 寄 若 宮 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
269	〃 高杯	1	的 遺 跡	〃	〃

6. 弥生から古墳へ

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
270	物見やぐら復元模型1/5	1	吉 野 ケ 里 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町 佐賀県神埼郡三田川町	佐賀県教育委員会
271	堅穴住居跡	〃	1	〃	〃
272	高床式建物	〃	1	〃	〃
273	高床式倉庫	〃	1	〃	〃
274	巴形銅器鋳型	1	〃	〃	〃
275	〃 復元模型	1	〃	〃	〃
276	不明青銅器鋳型	1	〃	〃	〃
277	舶載鏡片	3	〃	〃	〃
278	小型仿製鏡	1	〃	〃	〃
279	鋤・鍬先	1	〃	〃	〃
280	鉄 鏃	2	〃	〃	〃
281	鉈	1	〃	〃	〃
282	素環頭刀子	2	〃	〃	〃
283	鉄 斧	1	〃	〃	〃

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 �藏・保管者
284	鉄 鎌	1	吉野ヶ里遺跡	佐賀県神埼郡神埼町 佐賀県神埼郡三田川町	佐賀県教育委員会
286	弥生土器 瓶	1	〃	〃	〃
287	〃 長頸壺	1	〃	〃	〃
288	〃 直口壺	1	〃	〃	〃
289	〃 広口壺	1	〃	〃	〃
290	〃 高杯	1	〃	〃	〃
291	〃 支脚	3	〃	〃	〃
292	小型仿製鏡	3	惣 座 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
293	ガラス製管玉	1	〃	〃	〃
294	〃 小玉	12	〃	〃	〃
295	石製紡錘車	1	〃	〃	〃
296	鉄 斧	2	〃	〃	〃
297	鋤・鍬先	2	〃	〃	〃
298	鉄 鑿	1	〃	〃	〃
299	鉄 鎌	2	〃	〃	〃
300	手 鎌	1	〃	〃	〃
301	鋸	1	〃	〃	〃
302	鉄 鏃	2	〃	〃	〃
303	弥生土器 脚付鉢	1	〃	〃	〃
304	〃 台付甕	1	〃	〃	〃
305	〃 器台	1	〃	〃	〃
306	〃 二重口縁壺	1	〃	〃	〃
307	〃 高杯	1	〃	〃	〃
308	〃 線刻器台	1	〃	〃	〃
309	〃 高杯	1	一本谷遺跡	佐賀県三養基郡上峰町	〃
310	〃 高杯	1	夕ヶ里遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	東脊振村教育委員会
311	〃 小型器台	1	〃	〃	〃
312	土師器 長頸壺	1	〃	〃	佐賀県教育委員会
313	〃 瓶	1	〃	〃	〃
314	〃 直口壺	1	〃	〃	〃
315	弥生土器 長頸壺	1	村中角遺跡	佐賀県佐賀郡諸富町	諸富町教育委員会
316	〃 瓶	1	〃	〃	〃
317	土師器 二重口縁壺	2	〃	〃	〃
318	〃 壺	1	唐人廟遺跡	〃	〃
319	弥生土器 瓶	1	土師本村遺跡	〃	〃
320	〃 瓶	1	三重櫟ノ木遺跡	〃	〃
321	〃 器台	1	原古賀三本谷遺跡	佐賀県三養基郡中原町	中原町教育委員会
322	〃 長頸壺	1	二塚山遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村 佐賀県三養基郡上峰町	佐賀県教育委員会
323	土師器 瓶	2	鈴熊遺跡	佐賀県佐賀市	〃
324	〃 高杯	1	〃	〃	〃
325	〃 二重口縁壺	1	〃	〃	〃
326	鋸	2	〃	〃	〃
327	弥生土器 二重口縁壺	1	西一本杉遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
328	土師器 二重口縁壺	1	西一本杉遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
329	鉈	1	〃	〃	〃
330	舶載鏡片	1	〃	〃	〃
331	硬玉製勾玉	1	〃	〃	〃
332	碧玉製管玉	14	〃	〃	〃
333	ガラス製小玉	30	〃	〃	〃
334	鉄 鏃	11	〃	〃	〃
335	鉄 剣	2	〃	〃	〃
336	鉄 斧	2	〃	〃	〃
337	鍬・鋤先	1	〃	〃	〃
338	方格規矩四神鏡	1	寄居遺跡	佐賀県小城郡小城町	〃
339	鉄 剣	1	〃	〃	〃
340	鉈	2	〃	〃	〃
341	鉄 斧	1	〃	〃	〃
342	舶載鏡片	1	〃	〃	〃
343	土師器 二重口縁壺	1	〃	〃	〃
344	〃 広口壺	1	〃	〃	〃
345	〃 鉢	1	〃	〃	〃
346	〃 二重口縁壺	1	志波屋六本松乙遺跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
347	刀子	1	〃	〃	〃
348	土師器 甕	2	織島東分上遺跡	佐賀県小城郡三日月町	〃
349	〃 広口壺	1	〃	〃	〃
350	〃 広口壺	1	寺浦遺跡	佐賀県小城郡小城町	〃
351	〃 鉢	1	〃	〃	〃
352	〃 甕	1	〃	〃	〃
353	〃 甕	1	滝C遺跡	〃	〃
354	〃 二重口縁壺	1	藤附E遺跡	佐賀県佐賀市	〃
355	〃 二重口縁壺	1	日岸田遺跡	佐賀県鳥栖市	〃
356	〃 甕	1	〃	〃	〃
357	弧帶文石(複製)	1	楯築弥生墳丘墓	岡山県倉敷市	東京都立博物館
358	弥生土器 特殊器台	1	宮山弥生墳丘墓	岡山県総社市	岡山県立博物館
359	飛禽鏡	1	〃	〃	〃
360	鉄 剣	1	〃	〃	〃
361	銅 鏃	1	〃	〃	〃
362	鉄 鏃	3	〃	〃	〃
363	弧文円板(複製)	1	纏向石塚古墳	奈良県桜井市	奈良県立橿原考古学研究所
364	鶴形木製品(複製)	1	〃	〃	〃
365	土師器 甕	1	〃	〃	桜井市教育委員会
36-1	〃 二重口縁壺	1	〃	〃	〃
36-2	〃 高杯	1	〃	〃	〃
36-3	〃 広口壺	1	〃	〃	〃
367	方格規矩鳥文鏡	1	津古生掛古墳	福岡県小郡市	小郡市教育委員会
368	ガラス製小玉	50	〃	〃	〃

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
369	鉄 鎌	30	津 古 生 掛 古 墳	福岡県小郡市	小 郡 市 教 育 委 員 会
370	鉄 斧	2	〃	〃	〃
371	鉄 剣	1	〃	〃	〃
372	土師器 二重口縁壺	2	〃	〃	〃
373	〃 鶏形二重口縁壺	3	〃	〃	〃
374	〃 二重口縁壺	1	赤坂古墳	佐賀県鳥栖市	鳥 栖 市 教 育 委 員 会
375	〃 短頸壺	1	〃	〃	〃
376	〃 長頸壺	1	〃	〃	〃
377	〃 小型器台	1	〃	〃	〃
378	〃 二重口縁壺	1	双水柴山2号墳	佐賀県唐津市	唐 津 市 教 育 委 員 会
379	〃 長頸壺	1	〃	〃	〃
380	〃 高杯	1	〃	〃	〃
381	〃 小型器台	1	〃	〃	〃

7. 古墳の時代

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
382	古墳人頭骨	1	織島西分古墳群	佐賀県小城郡三日月町	長崎 大学
383	土師器 瓢形壺	1	香田 遺跡	佐賀県三養基郡中原町	佐賀県教育委員会
384	〃 小型器台	1	〃	〃	〃
385	〃 鉢	1	〃	〃	〃
386	〃 甕	1	〃	〃	〃
387	〃 高杯	1	〃	〃	〃
388	鉄 鎌	1	〃	〃	〃
389	碧玉製勾玉	1	〃	〃	〃
390	土師器 低脚杯	1	撰分 遺跡	佐賀県多久市	〃
391	〃 鉢	1	〃	〃	〃
392	〃 二重口縁壺	2	〃	〃	〃
393	〃 甕	1	〃	〃	〃
394	〃 杯	1	浦田 遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
395	〃 杯蓋	1	〃	〃	〃
396	〃 甕	1	〃	〃	〃
397	〃 甑	1	〃	〃	〃
398	石製紡錘車	1	〃	〃	〃
399	土師器 広口壺	1	下石動 遺跡	〃	〃
400	〃 杯	1	〃	〃	〃
401	〃 甕	1	〃	〃	〃
402	滑石製子持勾玉	1	〃	〃	〃
403	〃 有孔円盤	1	〃	〃	〃
404	土 锤	2	〃	〃	〃
405	鉄 剣	2	久保泉丸山遺跡	佐賀県佐賀市	〃
406	鉄 矛	2	〃	〃	〃
407	鉄 鎌	2	〃	〃	〃
408	鉄 鎌	1	〃	〃	〃

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
409	鉄 斧	1	久保泉丸山遺跡	佐賀県佐賀市	佐賀県教育委員会
410	鎌	1	〃	〃	〃
411	刀 子	1	〃	〃	〃
412	砥 石	1	〃	〃	〃
413	鉄 鋸	1	〃	〃	〃
414	鑷 子	1	〃	〃	〃
415	琴柱形石製品	4	〃	〃	〃
416	緑色凝灰岩製勾玉	2	〃	〃	〃
417	蛇紋岩製勾玉	5	〃	〃	〃
418	ガラス製丸玉	2	〃	〃	〃
419	緑色凝灰岩製管玉	19	〃	〃	〃
420	滑石製白玉	1連	〃	〃	〃
421	土師器 瓢	1	〃	〃	〃
422	石製紡錘車	1	〃	〃	〃
423	舟形石棺	1	〃	〃	〃
424	土師器 小型丸底壺	1	金立開拓遺跡	〃	〃
425	〃 瓢	1	〃	〃	〃
426	〃 高杯	2	〃	〃	〃
427	刀 子	1	〃	〃	〃
428	鉄 鎌	3	〃	〃	〃
429	弓付属金具	13	〃	〃	〃
430	須恵器 杯	1	〃	〃	〃
431	〃 杯蓋	2	〃	〃	〃
432	鍔・鋤先	1	〃	〃	〃
433	手 鎌	1	〃	〃	〃
434	耳 環	1	〃	〃	〃
435	円筒埴輪	1	〃	〃	〃
436	鉄 鎌	1	滝 A 遺跡	佐賀県小城郡小城町	〃
437	刀 子	1	〃	〃	〃
438	陶質土器 瓢	1	藤附 K 遺跡	佐賀県佐賀市	〃
439	鉄 鎌	1	〃	〃	〃
440	須恵器 魁	3	鈴熊 遺跡	〃	〃
441	〃 瓢	1	〃	〃	〃
442	鉄 刀	1	久池井一本松遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
443	〃	1	猿嶽 A 遺跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
444	扁円剣菱形杏葉	3	〃	〃	〃
445	三累環頭柄頭	1	上三津栗原遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
446	柄縁金具	1	〃	〃	〃
447	鞘口金具	1	〃	〃	〃
448	須恵器 杯	1	大門西 遺跡	佐賀県佐賀市	〃
449	鉄 鎌	1	大工田 遺跡	佐賀県多久市	〃
450	鉄 斧	1	〃	〃	〃
451	土師器ミニチュア土器(杯)	2	寺浦 遺跡	佐賀県小城郡小城町	〃

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
452	土師器ミニチュア土器(高杯)	1	寺 浦 遺 跡	佐賀県小城郡小城町	佐賀県教育委員会
453	土師器 高杯	1	〃	〃	〃
454	〃 脚付壺	1	〃	〃	〃
455	耳 環	4	〃	〃	〃
456	土師器 高杯	1	礫 石 A 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
457	鞍	2	宮 西 古 墳 群	佐賀県鳥栖市	〃
458	鎧金具片	2	〃	〃	〃
459	心葉形杏葉	2	都 谷 B 古 墳 群	〃	〃
460	鎧 鞍	2	〃	〃	〃
461	轡	1式	〃	〃	〃
462	鞞尻金具	1	〃	〃	〃
463	鐸	1	〃	〃	〃
464	雲 珠	1	東 福 寺 古 墳 群	佐賀県武雄市	〃
465	辻金具	1	〃	〃	〃
466	碧玉製勾玉	2	〃	〃	〃
467	瑪瑙製勾玉	2	〃	〃	〃
468	硬玉製勾玉	1	〃	〃	〃
469	ガラス製トンボ玉	5	〃	〃	〃
470	〃 丸玉	1	〃	〃	〃
471	〃 切子玉	1	〃	〃	〃
472	水晶製切子玉	1	〃	〃	〃
473	碧玉製管玉	6	〃	〃	〃
474	銅 鉗	2	〃	〃	〃
475	須恵器 高杯	1	〃	〃	〃
476	円筒埴輪	2	綾部八本松遺跡	佐賀県三養基郡中原町	〃
477	刀 子	1	六 本 黒 木 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
478	刀 銛	1	一 本 松 古 墳 群	佐賀県小城郡小城町	〃
479	耳 環	1	西 一 本 杉 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
480	鉄 錆	3	藤 附 A 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
481	蛇紋岩製勾玉	1	都 谷 B 古 墳 群	佐賀県鳥栖市	〃
482	水晶製 切子玉	7	〃	〃	〃
483	〃 丸玉	1	〃	〃	〃
484	石 製 粒 玉	1	〃	〃	〃
485	ガラス製丸玉	5	〃	〃	〃
486	〃 製 管 玉	1	〃	〃	〃
487	須恵器 有蓋脚付鉢	1	〃	〃	〃
488	硬玉製勾玉	1	大 門 西 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
489	〃	1	猿 嶽 D 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
490	須恵器 器台	1	三 郎 山 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
491	〃 広口壺	1	礫 石 B 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
492	耳 環	2	西 原 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
493	土師器 角杯	1	切 番 A 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃

8. 肥前国の成立

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
493	軒丸瓦	3	肥 前 国 府 跡	佐賀県佐賀郡大和町	佐 賀 県 教 育 委 員 会
494	軒平瓦	1	〃	〃	〃
495	灰釉陶片	1	〃	〃	〃
496	綠釉陶片	1	〃	〃	〃
497	鬼 瓦	1	〃	〃	〃
498	石跨(巡方)	1	〃	〃	〃
499	須恵器 円面硯	1	〃	〃	〃
500	土師器 円面硯	1	〃	〃	〃
501	鬼 瓦	1	金 立 開 拓 遺 跡	佐賀県佐賀市	〃
502	須恵器 壺	1	久 池 井 B 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
503	〃 杯	1	〃	〃	〃
504	〃 盆	1	〃	〃	〃
505	土師器 杯	1	〃	〃	〃
506	石跨(丸鞆)	1	〃	〃	〃
507	綠釉陶片	2	東山田一本杉遺跡	〃	〃
508	刻印土師器	2	〃	〃	〃
509	石跨(丸鞆)	1	西山田三本松遺跡	〃	〃
510	〃 (鉈尾)	1	〃	〃	〃
511	土師器 杯	1	〃	〃	〃
512	〃 杯蓋	1	〃	〃	〃
513	ヘラ書土師器	2	西山田二本松遺跡	〃	〃
514	木簡(複製)	6	平 城 宮 跡	奈良県奈良市	佐 賀 県 立 博 物 館
515	文房具復元品	1式	〃	〃	佐 賀 県 教 育 委 員 会
516	木簡(複製)	3	志波屋四ノ坪遺跡	佐賀県神崎郡神崎町	〃
517	墨書き土器	3	〃	〃	〃
518	須恵器 長頸壺	1	〃	〃	〃
519	墨書き土器	3	大 黒 町 遺 跡	佐賀県藤津郡塩田町	塩 田 町 教 育 委 員 会
520	須恵器 円面硯	1	〃	〃	〃
521	銅跨(巡方)	1	〃	〃	〃
522	木 簡	2	太 宰 府 跡	福岡県太宰府市	福岡県立九州歴史資料館
523	食事模型	2	〃	〃	古 都 太 宰 府 を 守 る 会
524	腰帯(複製)	1	太 宰 府 跡	福岡県太宰府市	福岡県立九州歴史資料館
525	太宰府政庁復元模型	1	〃	〃	〃
526	物 差	1	〃	〃	〃
527	久池井六本杉遺跡復元模型	1	久池井六本杉遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	西 日 本 エンタープライズ
528	軒丸瓦	1	肥 前 国 分 寺 跡	〃	佐 賀 県 教 育 委 員 会
529	軒平瓦	1	〃	〃	〃
530	軒丸瓦	1	肥 前 国 分 尼 寺 跡	〃	大 和 町 教 育 委 員 会
531	軒平瓦	1	〃	〃	〃
532	墨書き土器	3	〃	〃	〃
533	綠釉陶片	2	〃	〃	〃

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
534	刻印須恵器 杯	2	肥前国分尼寺跡	佐賀県佐賀郡大和町	大和町教育委員会
535	るつぼ	1	〃	〃	〃
536	ふいご羽口	1	〃	〃	〃
537	軒平瓦	1	寺浦瓦窯跡	佐賀県小城郡小城町	佐賀県教育委員会
538	軒丸瓦	1	〃	〃	〃
539	椅寺銘銅鐘(複製)	1		千葉県成田市	佐賀県立博物館
540	砥石	2	浦田遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
541	石製勾玉	1	〃	〃	〃
542	土師器 甕	1	〃	〃	〃
543	〃 杯	2	〃	〃	〃
544	内黒土器 杯	1	〃	〃	〃
545	土師器 杯	2	大久保三本松遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
546	〃 台付皿	1	〃	〃	〃
547	手鎌	1	下石動遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
548	鉄 鐛	1	〃	〃	〃
549	鉄 鎌	1	〃	〃	〃
550	水晶製垂飾	2	久池井一本松遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
551	刀子	2	〃	〃	〃
552	土師器 杯	4	〃	〃	〃
553	胡州鏡	1	久池井B遺跡	〃	〃
554	紡錘車	1	〃	〃	〃
555	胡州鏡	1	〃	〃	〃
556	土師器 台付皿	1	〃	〃	〃
557	〃 小皿	1	〃	〃	〃
558	〃 杯	1	〃	〃	〃
559	黒色土器 梗	1	〃	〃	〃

9. 中世のくらし

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
560	東播系須恵器 片口鉢	1	小野原遺跡	佐賀県武雄市	佐賀県教育委員会
561	土師器 杯	1	〃	〃	〃
562	〃 小皿	1	〃	〃	〃
563	瓦 器 梗	2	〃	〃	〃
564	ふいご羽口片	2	〃	〃	〃
565	瓦質土器 擂鉢	1	久池井B遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃
566	〃 鍋	1	〃	〃	〃
567	〃 羽釜	1	〃	〃	〃
568	土師器 杯	1	〃	〃	〃
569	〃 小皿	1	〃	〃	〃
570	明染付皿	1	〃	〃	〃
571	石鍋片	1	西石動遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
572	土師器 三足鍋	1	尾崎利田遺跡	佐賀県神埼郡神埼町	〃
573	銅 銭	8	下中杖遺跡	佐賀県神埼郡三田川町	〃

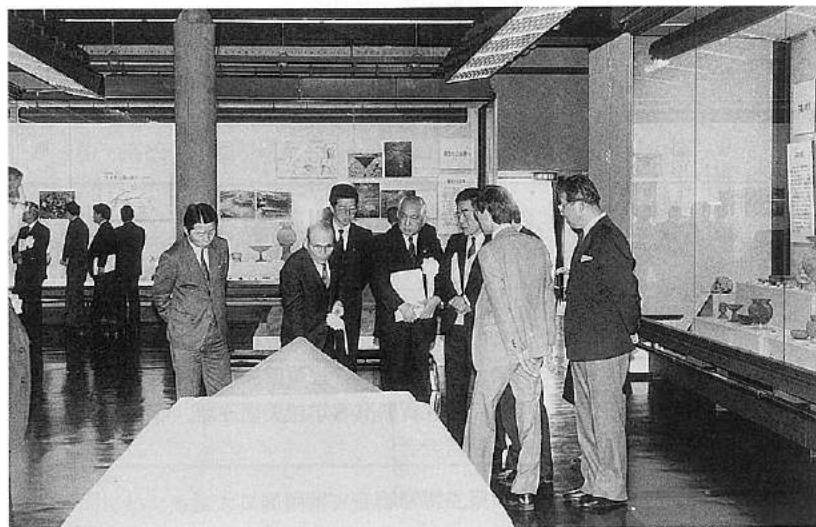
No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
574	土 錘	3	崎 村 遺 跡	佐賀県神埼郡千代田町	千代田町教育委員会
575	〃	2	菰 ノ 江 遺 跡	佐賀県三養基郡三根町	三根町教育委員会
576	瀬戸 おろし皿	1	天建寺土井内遺跡	〃	〃
577	備前 甕	1	本 告 牛 田 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	神埼町教育委員会
578	常滑 甕	2	柳 郷 城 跡	〃	〃
579	畿内系瓦器 梗	1	馬 洗 神 迂 遺 跡	佐賀県杵島郡白石町	白石町教育委員会
580	東播系須恵器 片口鉢	1	余江西二本松遺跡	佐賀県神埼郡千代田町	千代田町教育委員会
581	明 染付皿	2	撰 分 遺 跡	佐賀県多久市	佐賀県教育委員会
582	土師器 杯	3	〃	〃	〃
583	〃 小皿	3	〃	〃	〃
584	青磁 梗	2	石動二本松遺跡	佐賀県神埼郡東脊振村	〃
585	陶器 瓶	1	〃	〃	〃
586	白磁 梗	3	東福寺古墳群	佐賀県武雄市	〃
587	青磁 梗	5	西山田二本松遺跡	佐賀県佐賀郡大和町	〃

10. 肥前陶磁の生産と消費

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
588	唐津 中型甕	1	甕屋 A 窯跡	佐賀県武雄市	佐賀県教育委員会
589	〃 大型甕(在銘)	1	〃	〃	〃
590	〃 大型甕(在銘)	1	〃	〃	〃
591	〃 中型甕	1	〃	〃	〃
592	〃 小型甕	1	〃	〃	〃
593	〃 片口鉢	1	〃	〃	武雄市教育委員会
594	〃 撮鉢	1	〃	〃	〃
595	〃 薬研(車)	1	〃	〃	〃
596	〃 薬研(舟形)	1	〃	〃	佐賀県教育委員会
597	〃 撮鉢	1	甕屋 B 窯跡	〃	〃
598	〃 撮鉢	1	〃	〃	〃
599	〃 短頸壺	1	〃	〃	〃
600	〃 短頸壺	1	〃	〃	〃
601	〃 皿	1	〃	〃	〃
602	〃 小型壺	1	〃	〃	〃
603	〃 不明陶器	1	〃	〃	〃
604	〃 壺	1	〃	〃	〃
605	〃 中型甕	1	〃	〃	〃
606	〃 仏花器	1	〃	〃	〃
607	〃 徳利	1	〃	〃	〃
608	〃 大型甕(寛永六年銘)	1	(伝世品)		佐賀県立九州陶磁文化館
609	〃 梗	1	内野山北窯跡 (内野山黒跡B)	佐賀県藤津郡嬉野町	佐賀県教育委員会
610	〃 梗	1	〃	〃	〃
611	〃 梗・皿(融着)	1	〃	〃	〃
612	〃 皿	1	〃	〃	〃
613	〃 皿	1	〃	〃	〃

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
614	唐津 杯	1	内野山北窯跡 (内野山窯跡B)	佐賀県藤津郡嬉野町	佐賀県教育委員会
615	〃 仏飯器	1	〃	〃	〃
616	〃 皿	1	〃	〃	〃
617	〃 擣鉢	1	〃	〃	〃
618	〃 擣鉢	1	〃	〃	〃
619	〃 皿	1	〃	〃	〃
620	〃 変形皿	1	〃	〃	〃
621	〃 輪花鉢	1	〃	〃	〃
622	〃 鉢	1	〃	〃	〃
623	〃 皿	1	〃	〃	〃
624	〃 皿	1	〃	〃	〃
625	〃 楠	1	〃	〃	〃
626	〃 楠	1	〃	〃	〃
627	〃 皿	1	〃	〃	〃
628	〃 皿	1	〃	〃	〃
629	〃 杯	1	〃	〃	〃
630	〃 楠	1	〃	〃	〃
631	〃 香炉	1	〃	〃	〃
632	〃 徳利	1	〃	〃	〃
633	〃 徳利	1	〃	〃	〃
634	〃 徳利	1	〃	〃	〃
635	〃 鉢	1	〃	〃	〃
636	〃 鉢	1	〃	〃	〃
637	伊万里 楠	1	〃	〃	〃
638	〃 楠(融着)	1	〃	〃	〃
639	〃 筒形楠(源六焼)	1	〃	〃	〃
640	〃 鉢(源六焼)	1	〃	〃	〃
641	〃 皿(窯道具融着)	1	皿 山 窯 跡	佐賀県武雄市	〃
642	〃 皿(窯道具融着)	1	〃	〃	〃
643	〃 鉢	1	〃	〃	〃
644	〃 楠	1	〃	〃	〃
645	〃 皿(在銘)	1	〃	〃	〃
646	唐津 鉢	1	旧芝離宮庭園遺跡	東京都港区	港区教育委員会
647	〃 楠	1	〃	〃	〃
648	〃 皿	1	〃	〃	〃
649	〃 皿	5	内膳町 遺跡	京都府京都市	京都府教育委員会
650	〃 皿	1	奈良奉行所跡	奈良県奈良市	奈良女子大学
651	〃 楠	3	〃	〃	〃
652	〃 鉢	1	〃	〃	〃
653	〃 皿	2	郡 山 城 跡	奈良県大和郡山市	奈良県立橿原考古学研究所
654	〃 中型甕	1	安曇寺跡	大阪府大阪市	大阪市教育委員会
655	〃 皿	1	足守小学校内遺跡	岡山県岡山市	岡山市教育委員会
656	〃 擣鉢	1	〃	〃	〃

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保管者
657	唐津 皿・擂鉢	6	二 日 市 遺 跡	岡山県岡山市	岡山市教育委員会
658	ノ 皿	1	三 本 松 町 遺 跡	福岡県久留米市	久留米市教育委員会
659	ノ 皿	1	西 屋 敷 遺 跡	ノ	ノ
660	ノ 皿	1	ノ	ノ	ノ
661	ノ 香 爐	1	ノ	ノ	ノ
662	ノ 梗	1	下 見 遺 跡	ノ	ノ
663	ノ 杯	1	ノ	ノ	ノ
664	ノ 皿	1	ノ	ノ	ノ
665	ノ 梗	1	大 板 井 遺 跡	福岡県小郡市	小郡市教育委員会
666	ノ 梗	1	ノ	ノ	ノ
667	ノ 皿	1	ノ	ノ	ノ
668	ノ 皿	1	ノ	ノ	ノ
669	ノ 皿	1	ノ	ノ	ノ
670	伊万里 有蓋壺	1	金 立 開 拓 遺 跡	佐賀県佐賀市	佐賀県教育委員会
671	唐津 土瓶	1	ノ	ノ	ノ
672	ノ 中型甕	1	ノ	ノ	ノ
673	ノ 擂鉢	1	ノ	ノ	ノ
674	伊万里 梗	1	ノ	ノ	ノ
675	ノ 梗	1	ノ	ノ	ノ
676	ノ 仏飯器	1	ノ	ノ	ノ
677	ノ 梗	1	ノ	ノ	ノ
678	ノ 梗	1	ノ	ノ	ノ
679	ノ 皿	1	ノ	ノ	ノ
680	ノ 皿	1	ノ	ノ	ノ
681	唐津 鉢	1	ノ	ノ	ノ
682	ノ 徳利	1	長 尾 遺 跡	ノ	ノ
683	ノ 擂鉢	1	ノ	ノ	ノ
684	伊万里 皿	1	ノ	ノ	ノ
685	唐津 梗(京焼風陶器)	1	ノ	ノ	ノ
686	ノ 梗(京焼風陶器)	1	ノ	ノ	ノ
687	ノ 皿	1	撰 分 遺 跡	佐賀県多久市	ノ
688	ノ 鉢	1	ノ	ノ	ノ
689	ノ 鉢	1	ノ	ノ	ノ
690	ノ 鉢	1	ノ	ノ	ノ



展覧会場

第三回「九州横断発掘成果展」



講演会

3. 企画展ならびにその他の展覧会 平成元年度

展 覧 会 名	会 期	主 催
佐賀市制100周年記念事業 百年の歴史展	4/8~4/23	百年の歴史実行委員会
第21回 佐賀県勤労者美術展	9/13~9/17	佐賀県労政訓練課 佐賀県立博物館
第39回 佐賀県児童生徒理科作品展	9/28~10/4	佐賀県理科教育振興会 佐賀県立博物館
農協共催小・中学生 第15回 交通安全ポスター展 第25回 書道展	10/17~10/22	佐賀県共催農業協同組合連合会 佐賀県立博物館
第39回 佐賀県美術展覧会	11/3~11/12	佐賀県教育庁文化課 佐賀県立博物館、佐賀県立美術館
第13回 佐賀県高等学校芸術祭 美術・書道展	11/18~11/26	佐賀県教育委員会、佐賀県高等学校教育研究会芸術部会、佐賀県高等学校美術連盟、佐賀県高等学校書道研究会
タイムトラベル1990 —九州横断道発掘成果—展	1/5~2/12	佐賀県立博物館

4. 博物館観覧状況調べ 平成元年度

常 設 展	個 人			団 体			観 覧
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小	
佐賀県の歴史と文化	28,193	1,478	5,594	5,699	296	556	5,460
〃	10,003	673	2,839	3,774	153	688	646
〃	1,184	68	133	289		1	225
〃	1,386	163	151	279		34	13
小 計 (1)	40,766	2,382	8,717	10,041	449	1,279	6,344

企 画 展	個 人			団 体			観 覧
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小	
タイムトラベル1990 —九州横断道発掘成果—展	1,807	116	237	224		3	343

そ の 他 の 展 覧 会	個 人			団 体			観 覧
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小	
佐賀市制100周年記念事業 百年の歴史展	5,046	11	1,159	121	635	512	
第21回 佐賀県勤労者美術展	1,390	19	141				
第39回 佐賀県児童理科作品展	1,013	89	701	14	43	1,124	
第15回 交通安全ポスター展 第25回 書道展	643	1	322	179		484	
小 計 (3)	8,092	120	2,323	314	678	2,120	
合 計 (1)+(2)+(3)	50,665	2,618	11,277	10,579	1,127	3,402	6,687

展 示 概 要	会 場
市民生活・近代教育・発明・情報通信の100年を紹介。	博物館3号
絵画、工芸、写真、書150点。	博物館3号
小・中・高校生の理科研究発表300点。	博物館3号
入選作ポスターと書300点。	博物館3号
日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン約450点。	博物館2・3号 (美術館2・3・4号)
高校生の美術工芸・書作品約500点。	博物館2・3号 (美術館2・3・4号)
12年間にわたる膨大な発掘調査資料を紹介。	博物館2・3号

料 免 除 者		招待者	優待者	合 計	開館日数	一日平均	期 間	備 考
大・高	中・小							
428	3,274	104	28	51,110	73	700	4/1~6/25	
169	2,038	11	64	21,058	102	206	6/29~10/22	
12	188	118	22	2,240	32	70	12/1~1/15	
	41	9	17	2,093	38	55	2/16~3/31	
609	5,541	242	131	76,501	245	312		

料 免 除 者		招待者	優待者	合 計	開館日数	一日平均	期 間	備 考
大・高	中・小							
		517	32	3,279	32	102	1/20~2/25	小計(2)

料 免 除 者		招待者	優待者	合 計	開館日数	一日平均	期 間	備 考
大・高	中・小							
				7,484	14	534	4/8~4/23	
				1,550	5	310	9/13~9/17	
		1		2,985	6	497	9/28~10/4	
				1,629	6	271	10/17~10/22	
		1		13,648	31	440		
609	5,541	760	163	93,428	308	303		

5. 普及活動

(1) 資料の刊行

博物館報

年4回、各号8ページで800部発行。

全国の主要博物館、美術館ならびに研究機関、県内の教育機関、社会教育団体に配布。企画展、新収蔵品展の案内から資料紹介までの内容は下記のとおりです。

No85 平成元年5月15日

*紺糸威桶側二枚銅具足

*講座要旨／甲冑史からみた肥前の鎧

—肥前具足の誕生—

*講座要旨／新発見の谷文晁筆山水図をめぐって

*資料調査／高岸の塗飯櫃

*行事のお知らせ・人事異動

No86 平成元年10月20日

*木版摺更紗着物 唐黍文の制作

*美術館講座／型染と更紗

*研究メモ／昌平斎教授 古賀精里

*行事のお知らせ

No87 平成2年2月1日

*涅槃変相図

*資料紹介／涅槃変相図

*講座要旨／佐賀県の自然と蝶類

*行事のお知らせ

No88 平成2年3月20日

*富士山（三保にて）

*研究ノート／岡田三郎助の風景観

*博物館講座講演要旨／東アジアの支石墓と墳丘墓

*企画展記念講演要旨／古墳出現の背景

*行事のお知らせ

年報

昭和63年度佐賀県立博物館・佐賀県立美術館年報No19を刊行。昭和63年度の管理概要、事業運営の概況、資料概要、茶室「清惠庵」の管理運営等を掲載する。

B5版・アート紙・50ページ・800冊を刊行。

調査研究書

平成元年度佐賀県立博物館・佐賀県立美術館調査研究書第15集を刊行、各方面に配布した。内容は下記のとおりである。

B5版・アート紙・60ページ・1000部印刷

図録

佐賀県立博物館の特別企画展（年1回）に伴い

展示図録を刊行した。

*タイムトラベル1990—九州横断道発掘成果一展

内容については企画展の項を参照のこと。

(2) 研究講座

1. 博物館土曜教室

演題	講師	日時
肥前の鎧	尾形 善郎	1・5/20
弥生木器とその保存	木下 巧	1・6/10
佐賀の近代農業 —農具の変遷にみる—	山崎 和文	1・7/8
佐賀藩のブレーン	小宮 瞳之	1・7/22
佐賀県の蝶	古賀 精里	宮崎 武夫
更紗のはなし	宮原 香苗	1・9/30
仏画を描いた人々	竹下 正博	1・12/16

2. 記念講演会

平成元年度佐賀県立博物館特別企画「タイムトラベル1990—九州横断道発掘成果一展」の開催を記念して下記の内容で実施した。

演題 『東アジアの支石墓と墳丘墓』

講師 西谷 正氏（九州大学文学部教授）

日時 平成2年1月27日（土）午後2～4時

会場 佐賀県立博物館 博物館教室

演題 『古墳出現の背景』

講師 石野 博信氏（奈良国立橿原考古学研究所副所長）

日時 平成2年2月17日（土）午後2～4時

(3) 博物館学実習（付表参照）

学芸員養成講座を持つ大学からの要請により、平成元年度は7月12日㈬から7月21日㈮までの9日間、下記の3名で実施した。

実習生 所属大学

大井 雅彦 九州産業大学 芸術学部

堤 恵美子 駒澤大学 文学部

平成元年度博物館学実習

7月	実習科目〈担当〉	
	午前	午後
12日(木)	・開講式 施設見学・管理運営 〈古賀〉	博物館美術館の 学芸活動 〈尾形〉
13日(木)	工芸 〈宮原〉	展覧会準備 〈宮原〉
14日(金)	保存科学と展示 〈木下〉	近世美術 〈福井〉
15日(土)	個人またはグループによる館外実習	
16日(日)		
17日(月)	近世史 〈小宮〉	企画普及と 広報活動 〈木下〉
18日(火)	考古学 〈蒲原〉	民俗 〈山崎〉
19日(水)	自然科学 〈宮崎〉	古文書調査の実際 〈小宮〉
20日(木)	近代・現代美術 〈松本〉	刀剣・甲冑の取扱 〈浜野〉
21日(金)	資料の収集整理 保管 〈宮崎〉	・閉講式



No.85



No.86



No.87



No.88

(4) 館外普及活動

- 平成元年 4月13日 「平成元年度・展覧会ご案内」及び年報配布 (～18日)
 6月27日 佐賀県広報会議／企画普及係長 木下 巧
 7月27日 「ふるさと文化講座」講師 大和町／企画普及係長 木下 巧
 9月13日 平成元年度統計グラフ佐賀県コンクール審査／学芸員 山崎 和文
 9月18日 平成元年度佐賀県立美術館特別企画「鈴田照次一染色の旅一展」の普及 (～10月6日)
 12月7日 平成元年度佐賀県立博物館特別企画「タイムトラベル1990—九州横断道発掘成果一展」の普及
 (～12日)
- 平成2年 1月12日 ノ (～2月2日)
 2月14日 平成元年度美術館等運営研究協議会「美術館の普及活動について」(～15日)／学芸員 山崎 和文
 3月16日 「郷土歴史講座」講師 大和町中央公民館 学芸員／竹下 正博

(5) 映画会

平成元年度夏休み親と子の映画会

期 日 8月12日 (土)～8月13日 (日)

会 場 佐賀県立美術館ホール

主 催 佐賀県立美術館

(入場無料)

上映時間 10：30～16：00 (午前の部・午後の部)

上映題名 七夕ものがたり、素晴らしい風船旅行、一休さん、テレバスクマーラー宇宙の旅—

6. 資料調査

平成元年 4月13日	山内町公文家旧蔵資料調査（佐賀銀行旧電算センター）	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿
4月20日	〃	〃	〃
5月19日	〃	〃	〃
5月26日	〃	〃	〃
5月31日	歴史資料調査（書画、刀剣、能面、琴など）唐津市・高取家	佐賀県立博物館特別企画 「タイムトラベル1990—九州横断発掘成果一展」に伴なう調査（北九州自然史博物館）	尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
6月1日	山内町公文家旧蔵資料調査（佐賀銀行旧電算センター）	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿 尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
6月1日	歴史資料調査（漢鏡、絵画、彫刻など）唐津市・高取家	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿 尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
6月2日	山内町公文家旧蔵資料調査（佐賀銀行旧電算センター）	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿 尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
6月8日	肥前名護屋城関係資料調査（鎮西町、呼子町）	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿 尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
6月13日	久留米国分町・森田家、浮羽郡田主丸町・田中家資料（三井寺所蔵「尊能像」、狩野孝信筆「高僧像」）	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿 尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
6月15日	山内町公文家旧蔵資料調査（佐賀銀行旧電算センター）	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿 尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
6月19日	名護屋陣図（福岡市）	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿 尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
7月6日	山内町公文家旧蔵資料調査（佐賀銀行旧電算センター）	学芸課長 学芸員 副館長 学芸員 資料係長 学芸員	小宮睦之 福井尚寿 尾形善郎 山崎和文 宮崎武夫 蒲原宏行
7月13日	平成元年度佐賀県埋蔵文化財調査連絡協議会（楠会館）	専門員 学芸員 専門員 学芸員	木下巧行 蒲原宏行
7月19日	佐賀県立博物館特別企画 「タイムトラベル1990—九州横断発掘成果一展」に伴なう調査（日本道路公団武雄事務所）	専門員 学芸員 専門員 学芸員	木下巧行 蒲原宏行
8月7日	（東京国立博物館・東京埋蔵文化財センター）～11日	学芸員	蒲原宏行
8月8日	福満寺（佐賀市）、誕生院（鹿島市）調査	学芸員	福井尚寿
8月17日	歓喜寺（北方町）、永寿寺（嬉野町）調査	学芸員	福井尚寿
8月18日	実相院（大和町）、東楽院（有明町）調査	学芸員	福井尚寿
8月22日	佐賀県立博物館特別企画 「タイムトラベル1990—九州横断発掘成果一展」に伴なう調査（岡山、大阪、京都、奈）～25日	学芸員	蒲原宏行
8月28日	広福護国禅寺（武雄市）調査	学芸員	福井尚寿
8月29日	佐賀県立博物館特別企画 「タイムトラベル1990—九州横断発掘成果一展」に伴なう調査（熊本博物館、熊本県文化課、城南町歴史民俗資料館）	学芸員	福井尚寿
9月1日	両岩神社（嬉野町）調査	学芸員	蒲原宏行
9月4日	小城町星巖寺調査	学芸員	福井尚寿
10月8日	第14回民具学会（福島県田島町中央公民館）	学芸員	福井尚寿
10月16日	多久市鶴田家調査	学芸員	福井尚寿
10月26日	山内町公文家旧蔵資料調査（佐賀銀行旧電算センター）	学芸員	福井尚寿
10月27日	山口勘六郎氏所蔵資料調査（白石町）	学芸員	和善尚正
11月6日	平成元年度青少年科学活動指導者研修（東京都）	学芸員	和善尚正
11月21日	民俗文化財資料調査（碁盤師・多久市）	学芸員	和善尚正
11月22日	狩野孝信筆「高僧像」の調査（久留米市、福岡市）	学芸員	和善尚正
11月22日	民俗文化財資料調査（石彫工・多久市）	学芸員	和善尚正
12月22日	能面の調査（鹿島市）	学芸員	和善尚正
平成2年 1月18日	平成元年度第2回諸職関係民俗文化財調査会議	学芸員	和善尚正
1月30日	筑紫琴の調査（福岡県）	学芸員	和善尚正
1月31日	仏像調査（武雄市）	学芸員	和善尚正
2月6日	歴史資料調査（小城町・三岳寺、宝地院）	学芸員	和善尚正
2月8日	歴史資料調査（三根町・光淨寺）	学芸員	和善尚正
2月9日	歴史資料調査（鹿島市・普明寺）	学芸員	和善尚正
2月20日	絵画・歴史資料調査（中原町）	学芸員	和善尚正
2月21日	歴史資料・史跡調査（大和町）	学芸員	和善尚正
2月22日	歴史・絵画資料調査（小城町、佐賀市）	学芸員	和善尚正
3月6日	歴史資料調査（京都市）～9日	学芸員	和善尚正
3月14日	石炭船模型調査（千代田町）	学芸員	和善尚正
3月26日	歴史資料調査（東京都）～29日	学芸員	和善尚正
3月28日	歴史資料調査（唐津市）	学芸員	和善尚正

資料の概要 — 平成元年度・博物館 —

1. 購入資料

(1) 自然科学資料

資料名	数量	備考
岩石 (山田資料)	1セット (11個)	
鉱物 (岸川資料)	1セット (19個)	
化石 (西田資料)	1セット (92個)	

(2) 歴史資料

資料名	数量	備考
長崎海軍伝習所絵図	1幅	複製

(3) 美術資料

資料名	数量	備考
成富椿屋筆 花鳥図屏風	1隻	140.8×340.6 紙本着色 6曲
岸天岳筆 星大洋・朝日鷹・昇龍図	3幅	107.7×42.1 絹本墨画淡彩
長谷川雪旦筆 墓田川遠望図	1幅	84.3×51.1 絹本墨画淡彩
成富椿屋筆 勿来関図	1幅	113.9×42.4 絹本着色
『こぎれ四百姿・艦樓達の遍歴』	1組	古裂帖
鍋島綬通 蟹牡丹文	1点	188.0×92.0
リ リ	1点	190.5×91.5
佐賀硝子 ボトル	1対	

2. 寄贈資料

(1) 自然科学資料

資料名	数量	寄贈者
コウライキジ (オス)	1	佐賀市鍋島町鍋島689 古瀬圓吉

(2) 歴史資料

資料名	数量	寄贈者
松田正久書	1	小城郡小城町419 森永惣吉
大島圭介書	1	小城郡小城町419 森永惣吉
歲徳神画 (水墨)	1	小城郡小城町419 森永惣吉
中橋徳=行書	1	小城郡小城町419 森永惣吉
和歌書 (积超空) 25.0×91.0	1	小城郡小城町419 森永惣吉
色紙 (积超空・和歌)	1	小城郡小城町419 森永惣吉
和歌書 (积超空) 135×26.5	1	小城郡小城町419 森永惣吉
礼状他 (森永羊羹関係)	8通	小城郡小城町419 森永惣吉

資料名	数量	寄贈者
野田聴松 肖像画	1	福岡市中央区赤坂3-8-36 野田ヒサエ
小銃弾 (⑩佐賀の役使用)	11個	東京都港区白金2-5-22 蒲原信一郎
三木武夫書	1	佐賀市若宮1-17-2 長沼富士男
脇差「近江大掾 藤原忠広」	1	三養基郡中原町姫方 江里口裕子

(3) 民俗資料

資料名	数量	寄贈者
小城羊羹関係資料 (練り釜、まぜ棒、あんべら、宝尽し文様型、やうかん用型、練羊羹用型、はかり、ちきい、賞状、買上通知書、解説書、人物伝、錢箱、看板、写真パネル、ツボ、トックリ、カメ、竹製はかり、印鑑、包装紙用印板、着色用色和紙、フンドウ)	28点	小城郡小城町小城419 森永惣吉
埼玉の民俗音楽LPレコード	2枚	埼玉県民俗文化センター
樽廻船	1点	佐賀郡諸富町字石塚 藤満 均
朱漆塗飯櫃作り資料 (外鉢、内鉢、平鉢、木口鉢、内丸鉢、底ぐり鉢、外丸鉢マエ鉢、木口丸鉢、平鉢、底まわし鉢、合い差し用溝鉢、合差し用棧溝鉢、正直台、シャクリ、手挽き、ブンまわし、底まわし鉢、底下げ、鉢器、打ちぎり、腹当て、腹受け、仮り諭、掛け尺、型、墨差し、木割り型、金属削り刃物、漆液濾過用吉野紙、鋸、砥石、ツルベ、滑車、御飯櫃、化粧桐木、肥桶の蓋に穴をあける道具、漆液絞り台、常盤、塗り台、ヘラ、金泊握り手、刷毛、摺る木、柄付け桶)	45点	佐賀市鍋島町蛎久1505-2 高岸初一

(4) 美術資料

資料名	数量	寄贈者
中林梧竹筆 書額「造化真」	1面	小城郡小城町419 森永惣吉
中林梧竹筆 書額「致福」	1面	小城郡小城町419 森永惣吉
染付唐獅子牡丹図大皿	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
染錦菊牡丹鳳凰図大鉢	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
染錦花籠図皿	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
染付鯉図変皿	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
染付小鳥図六角皿	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
染付花鳥図皿	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
染付花鳥図徳利	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
染錦祥瑞捻文鉢	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
染錦飛龍菊唐花文輪花鉢	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
蒔絵笹蔓草文 手焙台	1点	小城郡小城町419 森永惣吉
古賀精里筆 七言絶句三行書	1幅	武雄市武雄町西浦 竹田秀子

資料名	数量	寄贈者
古川松根筆 美人図	1幅	武雄市武雄町西浦 竹田秀子
中林梧竹筆 五言絶句三行書	1幅	武雄市武雄町西浦 竹田秀子
山水・花鳥・人物図屏風	1双(6曲)	佐賀市赤松町6-7 西岡三郎
余元眉筆 一行書	1幅	佐賀市赤松町6-7 西岡三郎
余元眉筆 書貼合	1幅	佐賀市赤松町6-7 西岡三郎
墨床	3点	佐賀市赤松町6-7 西岡三郎
〔伝〕賴山陽筆 漢詩屏風	1	三養郡中原町姫方 江里口裕子
鍋島綏通 市松に菊十字文	1対	佐賀市唐人1丁目2-18 深川幸夫

3. 寄託資料

資料名	数量	寄託者
銅矛	1	佐賀郡・個人
松浦古唐津系 絵唐津輪文沓茶碗	1	東京都・個人
薩摩・磯御庭焼 色絵金欄手熨斗菊文徳利	1	東京都・個人
長崎ガラス 香合	1	東京都・個人
歌川国芳 「団七捨梶」図	1	東京都・個人
歌川広重 「東趣江戸橋」図	1	東京都・個人
歌川広重 「江戸名所吉原夜桜」図	1	東京都・個人
昇亭北寿 「上総九十九里地引網大漁獵正写之図」	1	東京都・個人
昇亭北寿 「給之嶋七里ヶ濱」図	1	東京都・個人
小林清親 「東京雪景図」	1	東京都・個人
鉄鑄地紺糸威 巨枚胴具足	1	東京都・個人
大礼服	1	東京都・個人
夜会服	1	東京都・個人
狩野孝信 「高僧像」	1幅	福岡・個人
作者不詳 梅に木 図 (讀 蓮如)		福岡・個人
中野家記録資料	33件	東京都・個人
渡雪山 「金山寺屏風」	1	佐賀市・個人

4. 資料の貸出状況

資料名	貸出先・目的	貸出・返却
桜馬場遺跡出土 巴形銅器(2) 銅釧(2) 大友遺跡出土 貝輪(3)	浜松市博物館 「銅鐸展」	元.7.18~9.8
白紙金字金剛般若波羅密經(1)	山口県立美術館 「大内文化の遺宝展」	元.7.20~9.27

資料名	貸出先・目的	貸出・返却
本分貝塚出土 スミノエガキ (4) ハイガイ (18) B-4層上半猪下顎骨 (1) B-4層東猪下顎骨 (1)	福岡県小郡市教育委員会 「古代有明文化展」	元. 7.25～8.30
安永田遺跡出土 銅鐸鋳型複製 (5) 宇木汲田遺跡出土 銅劍複製 (1) 菜畠遺跡出土 鍔・弓・杵複製 (各1点) 二塚山遺跡出土 兔田式土器 (1)	熊本日日新聞事業局 「吉野ヶ里遺跡と火の国の弥生展」	元. 8.2～8.16
桜馬場遺跡出土 方格規炬鏡 (1) 有鉤銅釧 (3) 巴形銅器 (1) 横田遺跡出土 方格規炬鏡 (1) 三津永田遺跡出土 昭明鏡 (1)	朝日新聞西部本社 「吉野ヶ里遺跡展」	元. 8.29～11.6
玄海町浜野浦の仕事着類	佐賀女子短期大学・草野栄氏 (調査のため)	元. 8.31～12.21
関行丸古墳出土 金銅製半筒形装飾具 (1) 銅鏡 (4) 貝輪 (1) 玉類 (一括) 三環鈴 (1)	N H K 大阪放送局 「藤ノ木古墳とその時代展」	元. 10.13～2.6.30
筑紫箒奥歌一巻 (1) 筑紫箒皆伝秘録 (1) 野田聰松旧蔵筑紫箒 (1) 村中れい旧蔵箒 (1)	全国箒曲大会実行委員会 「善導寺宝物殿展示」	元. 10.14～10.23
桜馬場遺跡出土 方格規炬鏡 (1) 巴形銅器 (1) 銅釧 (1) 二塚山遺跡出土 清白鏡 梶島山遺跡出土 昭明鏡 (1) 玉類 (1) 横田遺跡出土 鉄刀 (1) 東宮裾遺跡出土 巴形銅器 (1) 川寄吉原遺跡出土 (1) 鐸形土製品 (1) 土生遺跡出土 無文土器壺 (1)	大阪府教育委員会 (複製品作製のため)	元. 11.8.～2.1.23
町南遺跡出土 弥生土器 ほか (6)	埼玉県立博物館 「郷土学習室・常設展示」	元. 10.5.～2.3.20
船石遺跡出土 蛇行剣 (1) 蛇行矛 (1)	上峰町教育委員会 「文化財特設展」	元. 10.30～11.6
上峰町一本谷遺跡出土 連弧文鏡 (1)	佐賀県教育委員会 (県文化財保護審議会のため)	元. 12.11
東妙寺・妙法寺境内絵図 (1)	文化庁文化財保護部美術工芸課	2.1.22～6.15

資料名	貸出先・目的	貸出・返却
吉野ヶ里遺跡出土 有柄細形銅剣（複製） 把頭飾・細形銅剣 ほか (23)	佐賀県観光物産課 「吉野ヶ里遺跡展」	2.2.5～2.17
肥前名護屋城図屏風（模写）	西日本新聞社 「千利休400年記念・博多と茶の湯展」	2.3.26～4.9
省胎七宝はなみずき文小鉢	田代睦子 「個展」	2.3.30～4.9

5. 購入・寄贈図書

(1) 購入図書

書名	発行所	書名	発行所
和名類聚抄郡川郎 里駅名考証	吉川弘文館	装飾芸術論	岩崎美術社
権原考古学研究所論集 ⑧⑨	吉川弘文館	北斎美術館	集英社
東洋画論集成	(株)講談社	昭和の美術	毎日新聞社
国史大事典	吉川弘文館	オルセー美術館	日本放送出版協会
図説 日本医療文化史	(株)思文閣出版	近代日本美術事典	(株)講談社
東福寺誌	同上	哲学字彙	名著普及会
図譜 江戸時代の技術	(株)恒和出版	明治文学全集	筑摩書房
染色事典	朝倉書店	同上 別巻	同上
イギリス産業革命地図	原書房		

(2) 寄贈図書

書名	寄贈者	書名	寄贈者
日本美術院百年史 ①上・下	(財)日本美術院	桑田道夫画集	(株)京都書院
現代の日本美術	(株)美術俱楽部	利休大事典	(株)淡交社

茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

1 茶室の規模および施設

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で16年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に浸透し、県内、県外の茶道各流派のグループによる利用や、各種団体による茶会など幅広く利用された。

設計者 堀口捨己 東京都大田区山王4-6-5

早川正夫 東京都港区青山5-9-12

アイザワビル

構 造 木造平家建 寄棟造り

規 模 床面積 57.35m²

2 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、16年目に入り県内はもとより県外にも広く周知され、好評を得ている。

今年度は、各流の茶道グループ、婦人学級、青年団、学校などの団体あるいは、茶道愛好会など利用者の幅もさらに広まり、社会教育、学校教育の一環として広く利用された。

月別にみた利用状況は次のとおりである。

平成元年度			
月	利用団体数	利用者数	見学者数
4	4	213	12
5			5
6			3
7	1	47	3
8			
9			
10			5
11	1	12	0
12			7
1	6	170	10
2			9
3	4	32	3
計	16	474	69

3 茶道具備品

平成元年度末の概況は次のとおり191点である。

掛物 淡々斎宗室、希斎宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、亮茶翁の二行書、千宗佐、千代尼

花入 胡銅、朝鮮唐津「中里重利作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崖作」、備前焼、竹花入「生野祥雲斎作」、竹一重切花入「宗陵作」、有馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹斎作」、青磁鶴首花入「小笠原崖作」

香合・香炉 「12代今泉今右衛門作」、「井上萬二作」、黒牟田焼「丸田正美作」、「宗祥作」、菊花書詰蒔絵卵香合「助市作」、「13代今泉今右衛門作」、「源右衛門作」

茶碗 唐津奥高麗「中里無庵作」、絵唐津・唐津刷毛目「13代中里太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崖作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸・唐津皮鯨茶碗「中里重利作」、白磁茶碗「初代忠右衛門作」、黒楽茶碗「小川長樂作」、志野茶碗「荒川豊蔵作」、支那焼、高麗斗々屋「千漢鳳作」

水指 信楽焼「高橋樂斎作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、染付「12代今泉今右衛門作」、高麗「千漢鳳作」

薄茶器 沈金棗「安村稔作」

濃茶器 「13代酒井田柿右衛門作」

茶杓 「宗泰作」

風炉 利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉、鬼面共耳風炉

釜 切合釜・竹紋縁口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲竜釜「高橋敬典作」、尻張釜「高橋敬典作」、鬼面共耳風炉釜「横倉嘉山作」

棚 竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長坂

火入 染付「12代今泉今右衛門作」

菓子器 唐津焼「13代太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、青磁「中島宏作」、現川焼

建水 不審庵伝来写「11代中川淨益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅
風炉先屏風 秋草蒔絵

炉縁 高台寺蒔絵「柴田利雄作」

曲湯桶、置炉、瓶掛、蒟蒻塗四方盆、茶托と蓋、茶碾、茶壺

平成元年度

佐賀県立美術館

美術館の沿革

- 昭和55年3月 県政百周年記念事業の一環として、昭和58年開館を目指し、佐賀県立美術館の建設を決定。
- 昭和55年4月25日 佐賀県立美術館建設委員会設置。
- 12月10日 安井建築設計事務所による基本設計採用。
- 昭和56年3月31日 安井建築設計事務所による実施設計採用。
- 10月26日 佐賀県立美術館建設着工。
- 昭和58年1月31日 佐賀県立美術館建設完工。
- 4月1日 佐賀県立美術館設置条例施行。
佐賀県博物館及び美術館協議会条例施行。
佐賀県立美術館処務規則施行。
- 10月7日 山口亮一氏遺作64点を山口三千也氏より寄贈受く。
- 10月8日 佐賀県立美術館落成式、開館記念展「近代・九州の洋画家たち展」開催。
- 昭和61年9月1日 石本秀雄氏遺作31点を遺族より寄贈受く。
- 昭和63年9月30日 佐賀県立美術館開館5周年記念展「田園風俗画展」開催。
- 以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。
ここには点数の特に多いもののみを記載しました。

美術館日誌 平成元年度

平成元年

- 4月1日 職員人事異動
第1期常設展「近代の美術・工芸」
(～5月7日)
- 4月11日 第14回九州藍 笹会かな書作展(～16日)
- 4月24日 画廊・研究室のクロス張り替え(～28日)
- 4月26日 第2回九州国画会佐賀支部写真展(～30日)
- 5月5日 「子供の日」により常設展無料開館
- 5月12日 第2期常設展「近代の美術・工芸」
(～6月11日)
- 5月12日 ピカソ石版画展(～6月11日)
- 6月17日 第72回佐賀美術協会展(～25日)
- 6月28日 第6回佐賀県写真協会展(～7月2日)
- 6月29日 第3期常設展「近代の美術・工芸」
(～8月20日)
- 7月4日 第10回二科会佐賀支部展(～9日)
- 7月12日 第14回佐賀県書作家協会展(～16日)
- 7月18日 第20回独立C S展(～23日)
- 7月25日 第55回東光会展(～30日)
第6回美術館実技講座
石膏デッサン教室(～30日)
- 8月2日 第17回七夕書道展(～6日)
- 8月8日 下平武敏作品展(～13日)
- 8月12日 美術館自主企画映写会(～13日)
「七夕のものがたり」「素晴らしい風船旅行」ほか
- 8月16日 第9回創元会佐賀県支部展(～20日)
- 8月22日 第1回日韓交流デザイン工芸展(～27日)
第10回九州新工芸展(～27日)
- 9月1日 近代絵画の歩み—佐賀の画家たち—展
(～24日)
- 9月9日 博物館土曜教室「近代洋画と佐賀」
講師・松本誠一
- 9月30日 常設展特別企画「鍋島更紗を訪ねて」
(～10月22日)
- 9月30日 美術館特別企画「鈴田照次—染色の旅—展」
(～10月22日)
- 10月7日 美術館研究講座「鈴田照次さんの仕事」
講師・共立女子大学教授 北村哲郎
- 10月14日 美術館研究講座「型染と更紗」
講師・日本工芸会正会員 鈴田滋人
- 11月3日 第39回佐賀県美術展覧会(～12日)
- 11月18日 第13回佐賀県高等学校芸術祭美術・書道展
(～26日)
- 11月28日 第30回学童美術展(～12月3日)
- 12月1日 小さな企画展(～24日)
- 12月5日 第31回佐賀大学教育学部美術工芸科総合展
(～10日)
- 12月13日 嶋田敏生—心の旅—展(～17日)
- 12月20日 第10回佐賀新聞学生書道展(～24日)
- 12月28日 執務納め式
- 平成2年
- 1月4日 執務始め式
- 1月5日 ドイツ・ロマン派絵画展(～2月12日)
- 2月16日 第4期常設展「近代の美術・工芸」
- 2月20日 第12回さが行動美術展(～25日)
- 2月27日 第38回佐賀大学教育学部美術工芸科
卒業制作展(～3月4日)
- 3月7日 グループ「きしま」第20回記念展(～11日)
- 3月13日 第6回佐賀水墨画会展(～18日)
- 3月21日 第4回ハチロク展(～25日)
- 3月27日 第12回二紀佐賀グループ展(～4月1日)

規模および施設

構 造	鉄筋コンクリート造	一階建	一部二階建	
規 模	敷地面積	7,986m ²		
	建築面積	3,644m ²		
	延床面積	4,238m ²		
施 設	1号展示室	204m ²	倉 庫	5m ²
	2号展示室	230m ²	ホール	529m ²
	3号展示室	250m ²	和楽室・洋楽室	39m ²
	4号展示室	366m ²	準備室	18m ²
	収蔵庫	319m ²	映写室	12m ²
	収蔵庫前室	26m ²	機械室	47m ²
	荷解場	120m ²	倉 庫	13m ²
	倉 庫	79m ²	便 所	34m ²
	画廊・準備室	137m ²	ホワイエ	126m ²
	研修室	135m ²	休憩室	56m ²
	事務室	148m ²	便 所	93m ²
	写真室・暗室	58m ²	廊下・階段等	
	機械室	80m ²		1,114m ²

※組織は全て博物館と同様であり、博物館職員全員がそれぞれ対応する職を兼務している。

平成元年度 美術館歳出予算

科 目	予算額(単位千円)	科 目	予算額(単位千円)
(美術館費)		3. 調査研究費	144
1. 管理運営費	49,463	研究費	82
管理費	49,339	調査費	62
会議及び研修費	124	4. 企画展費	6,260
2. 資料整備費	26,345	5. 常設展費	1,494
資料購入費	20,706	6. 普及活動費	122
資料整備費	5,459	7. 施設整備費	1,554
資料収集費	180	計	85,382

事業の実施状況

1. 平成元年度 美術館常設展

- 第1期 4月1日～5月7日
(美術館1・2・3号)
- 第2期 5月12日～6月11日(同上)
- 第3期 6月29日～7月23日(同上)
8月2日～8月20日(同上)
- 小さな
企画展 12月1日～12月24日(美術館2号)
- 第4期 2月16日～4月8日(美術館2・3号)
ただし3号は12月1日～3月18日まで)
- 新収蔵品展 3月21日～4月8日(美術館3号)

I 彫 刻

古賀忠雄の作品。裸婦像を中心として展示した。

II 版 画

第2期においてベルナール・ビュフェのドライポイント作品を展示。風景を描いた作品30点展示した。

III 工 芸(1号B展示室)

第2期:(6月29日～8月20日)

「三右衛門と佩山—佐賀の陶芸家たち—」のテーマで、12代今泉今右衛門、12代酒井田柿右衛門、12代中里太郎右衛門(後の無庵)と佐賀の陶芸家として初めて日展出品をはたした松本佩山の作品を紹介した。それぞれ色鍋島、濁手(乳白手)色絵、叩き唐津の代表作です。一方、佩山は本焼き色釉の研究を重ねて完成させた釉象嵌、鹿島錦をイメージした厚みのある色絵のテクニック、ロクロ成型の力強さ、絵付けの巧みさに構成力を兼ねそなえた多才な人物でした。

1. 12代今泉今右衛門 色鍋島更紗文八角大皿
2. 12代中里太郎右衛門 叩き朝鮮唐津壺
3. 12代酒井田柿右衛門 濁手色絵草花文蓋物
4. 初代 松本佩山 五彩布目靈獸文大皿
5. 初代 松本佩山 釉象嵌牡丹団皿
6. 初代 松本佩山 釉裏紅金彩鯉団皿
7. 初代 松本佩山 白磁螢手鈴蘭形花器

第3期<I>:(12月1日～12月22日)

「鈴田照次—染色の旅—」展で紹介し尽くすことができなかつた作品から、新春にちなみみ松竹梅のモチーフを中心に展示した。会期中一部展示替。

1. 鈴田照次 型絵染着物 南の花文
2. 鈴田照次 木版摺更紗着物 竹文
3. 鈴田照次 木版摺更紗着物 松葉文(個人蔵)
4. 鈴田照次 和紙型絵染額 浜風景(個人蔵)
5. 鈴田照次 和紙木版摺額 秋景(個人蔵)
6. 鈴田照次 和紙型絵染額 鶩(個人蔵)

第3期<II>:(2月16日～3月18日)

1. 鈴田照次 木版摺更紗着物 松竹梅文
2. 鈴田照次 木版摺更紗着物 竹林(個人蔵)
3. 鈴田照次 木版摺更紗着物 松の花文
4. 鈴田照次 和紙型絵染額 松竹梅(個人蔵)
5. 鈴田照次 和紙型絵染額 剣使(個人蔵)
6. 鈴田照次 和紙型絵染額 鶩(個人蔵)

IV 近代・現代美術

第1期は昭和63年度の新収蔵品37点を展示。

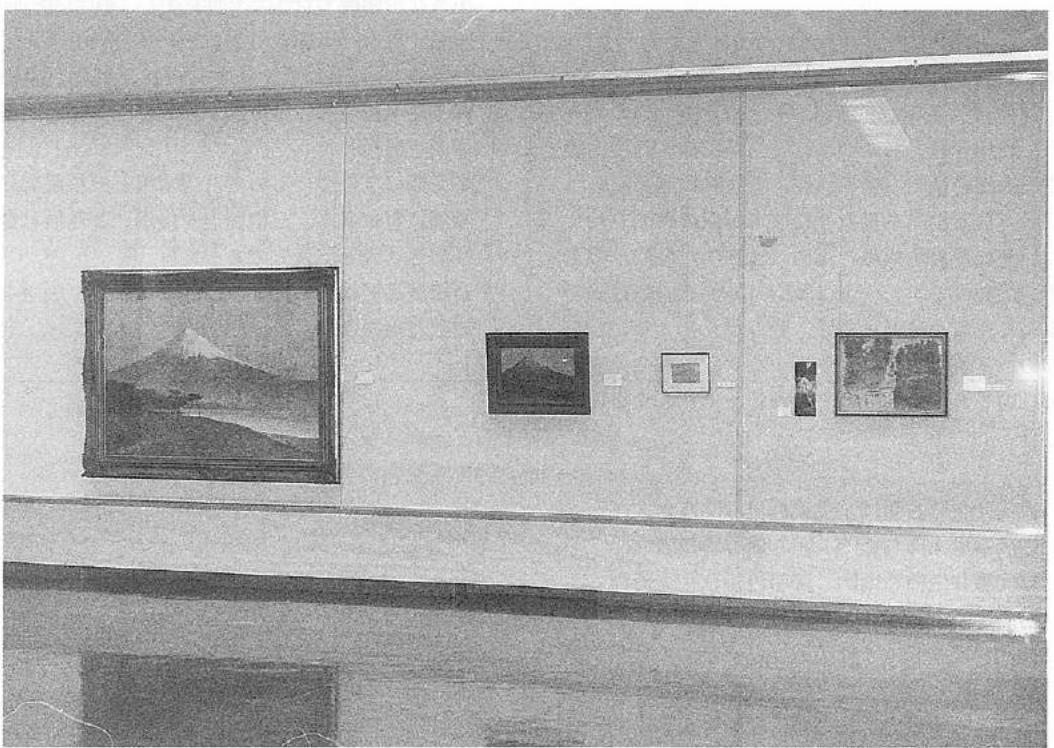
第2期は池田幸太郎16点、松本弘二15点を展示。小さな企画展では、2号展において山口亮一の油彩画、屏風31点。3号展において『近代洋画一人と風景』というテーマで岡田三郎助、黒田清輝、久米桂一郎、藤島武二の油彩画および岡田の素描を展示了。

第4期は2号展において『青木繁と三根霞郷』を開催。青木9点、三根19点を展示。3号展はひきづき「人と風景」であった。

新収蔵品展は日本画5点、油彩画15点、版画など総数28点を展示了。



古賀忠雄彫刻



「近代洋画一人と風景」



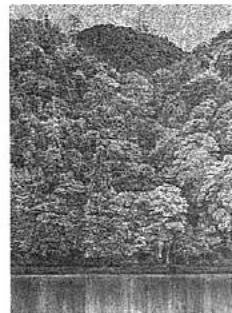
1. F-20-2-1

福井沢太 FUKUI, Sawata

1914～

保津川下り 下絵 Shooting the Hozu rapids
1979(昭和54)

岩絵具・紙 55.0×39.6
平成元年度 寄贈 9037



2. F-20-2-1

福井沢太 FUKUI, Sawata

1914～

新緑の嵐山 Arashiyama in fresh green
1986(昭和61)

岩絵具・紙 54.5×39.4
平成元年度 寄贈 9038



3. F-20-2-1

福井沢太 FUKUI, Sawata

1914～

硫黄山 Iou-zan

1965(昭和40)頃

岩絵具・紙 146.0×106.0
平成元年度 寄贈 9041



4. F-20-2-1

小栗 潮 OGURI, Ushio

1921～

鶏頭 Cockscombs
1966(昭和41)

岩絵具・紙 117.0×80.5
平成元年度 寄贈 9059



5. F-20-2-1

小栗 潮 OGURI, Ushio

1921～

石の花 Rhododendrons
1984(昭和59)

岩絵具・紙 227.3×167.5
平成元年度 購入 9071



6. F-20-2-1

小栗 潮 OGURI, Ushio

1921～

山湖 Lake in a mountain

1987(昭和62)

岩絵具・紙 28.3×40.3
左下「潮」印
平成元年度 寄贈 9060

油 彩



1. F-20-3-1

小代為重 SHŌDAI, Tameshige

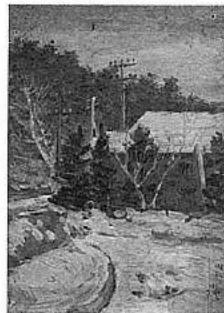
1861～1951

スエズ地峽入口 The Way in the Isthmus of Suez
1900(明治33)

油彩・板 18.5×28.3

右下「T. Shodai」

平成元年度 購入 9031



4. F-20-3-1

小代為重 SHŌDAI, Tameshige

1861～1951

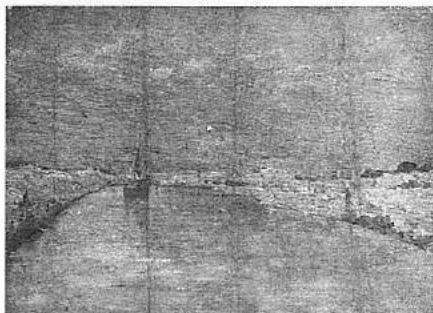
雪景 Snow scene

1927(昭和2)か

油彩・板 32.9×23.3

右下「昭和□ 小代」

平成元年度 寄贈 9024



2. F-20-3-1

小代為重 SHŌDAI, Tameshige

1861～1951

スエズ運河 The Suez Canal

1900(明治33)

油彩・キャンバス 21.3×30.3

平成元年度 購入 9032



5. F-20-3-1

小代為重 SHŌDAI, Tameshige

1861～1951

婦人像 Portrait of a woman

昭和初頃

油彩・板 32.9×23.4

平成元年度 購入 9033



3. F-20-3-1

小代為重 SHŌDAI, Tameshige

1861～1951

富士山 Mt. Fuji

1925(大正14)

油彩・キャンバス 30.4×54.5

右下「小代」

平成元年度 購入 9042



6. F-20-3-1

小代為重 SHŌDAI, Tameshige

1861～1951

上野毛風景 Scene of Kaminoge

昭和初頃

油彩・キャンバス 18.8×23.4

平成元年度 購入 9035



7. F-20-3-1

小代為重 SHODAI, Tameshige

1861～1951

自宅の庭 Garden of painter's house

昭和初頃

油彩・板 33.0×23.9

平成元年度 購入 9034



8. F-20-3-1

小代為重 SHODAI, Tameshige

1861～1951

近江八景 Eight views of Ōmi

油彩・板 23.6×33.0

右下「小代為重写」

平成元年度 購入 9036



9. F-20-3-1

中沢弘光 NAKAZAWA, Hiromitsu

1874～1964

奈良公園 Nara Park

1920(大正 9)

油彩・キャンバス 61.0×80.5

右下「Hiromitsu Nakazawa 1920」

平成元年度 購入 8964



10. F-20-3-1

中沢弘光 NAKAZAWA, Hiromitsu

1874～1964

舞妓 Dancing girl

1954-59(昭和29-34)頃

油彩・キャンバス 44.8×37.5

左下「奈可佐盤 □□□□」

平成元年度 購入 9030



11. F-20-3-1

中沢弘光 NAKAZAWA, Hiromitsu

1874～1964

婦人像 Portrait of a woman

1957(昭和32)頃か

油彩・板 33.0×23.2

左下「H. Nakazawa」

平成元年度 購入 8965



12. F-20-3-1

高木背水 TAKAGI, Haisui

1877～1943

入江風景 View of a cove

1929(昭和 4)

油彩・板 23.9×33.0

板裏に書き込み

平成元年度 購入 9039

油 彩



13. F-20-3-1

北島浅一 KITAJIMA, Asaichi
1887~1948
坐裸婦 Nude, sitting
1927(昭和2)
油彩・キャンバス 72.6×60.5
左下「A-Kitajima -1927-」
平成元年度 購入 9029



14. F-20-3-1

中原英彦 NAKAHARA, Hidehiko
1916~1986
婦人像 Portrait of a woman
1941(昭和16)
油彩・キャンバス 116.8×80.8
左下「H. Nakahara 2601」
平成元年度 購入 8958



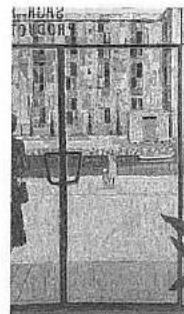
15. F-20-3-1

中原英彦 NAKAHARA, Hidehiko
1916~1986
女体 Woman flesh
1962(昭和37)
油彩・キャンバス 162.7×130.7
左下「H. Nakahara 62」
平成元年度 購入 8968



16. F-20-3-1

中原英彦 NAKAHARA, Hidehiko
1916~1986
横たわる二人 Man and a woman, lying
1982(昭和57)
油彩・キャンバス 113.2×145.6
右下「NAKAHARA '82」
平成元年度 購入 8959



17. F-20-3-1

宮地 亨 MIYACHI, Tōru
1909~
商工会館風景 Hall of Commerce and Industry
1955(昭和30)
油彩・キャンバス 161.0×97.0
平成元年度 管理換 9018



18. F-20-3-1

古沢岩美 FURUSAWA, Iwami
1912~
龍巖洞 (広西省全県)
1946(昭和21)
油彩・キャンバス 31.5×40.9
右下「I. FU 1946」
平成元年度 購入 9027

油 彩



19. F-20-3-1

古沢岩美 FURUSAWA, Iwami

1912~

ほおずきと遊蝶花 Ground-cherries and butterflies

1959(昭和34) 油彩・キャンバス 31.8×40.9

左下「iwami, F. LIX」

平成元年度 購入 9028



20. F-20-3-1

楢崎重視 NARASAKI, Shigemi

1927~

牛と子ども Cow and a child

1977(昭和52)

油彩・キャンバス 138.4×131.0

右下「'77 Shigemi Narasaki」

平成元年度 寄贈 8954



21. F-20-3-1

楢崎重視 NARASAKI, Shigemi

1927~

ひととき Recess

1981(昭和56)

油彩・キャンバス 130.9×162.2

左下「S. Narasaki '81」

平成元年度 購入 8966



22. F-20-3-1

楢崎重視 NARASAKI, Shigemi

1927~

飛鳥路春煙 Spring haze in the way of Asuka

1982(昭和57)

油彩・キャンバス 72.0×80.8

右下「Shigemi'82 Narasaki」

平成元年度 寄贈 8955



23. F-20-3-1

楢崎重視 NARASAKI, Shigemi

1927~

牧童 Shepherd boy

1980-83(昭和55-58)

油彩・キャンバス 80.4×116.7

右下「S. Narasaki」

平成元年度 寄贈 8956



24. F-20-3-1

楢崎重視 NARASAKI, Shigemi

1927~

野仏 Image of Buddha in a field

1983(昭和58)

油彩・キャンバス 72.8×53.2

右下「ならさき」

平成元年度 寄贈 8957



1. F-20-3-2

伝 高橋由一 TAKAHASHI, Yuichi
1828~1894
壯士図 Scene of a fight
水彩・絹 8.9×13.9
平成元年度 購入 9026



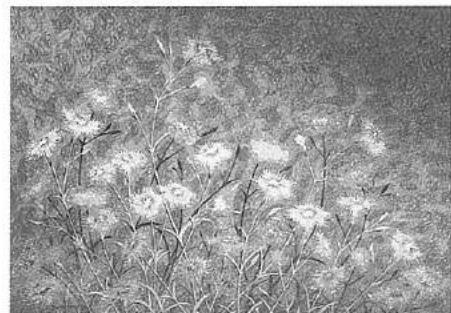
1. F-20-4-2

牧野宗則 MAKINO, Munenori
1940~
有明天界 Sacred flowers at dawn
1989 (平成 1)
多色木版 73.5×49.7
右下「まきのむねのり 宗則」
平成元年度 購入 9063



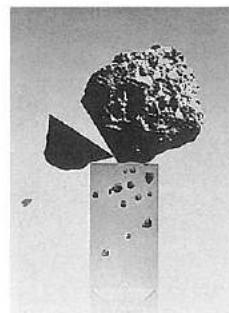
2. F-20-4-2

牧野宗則 MAKINO, Munenori
1940~
光明 Glory
1989 (平成 1)
多色木版 49.2×74.0
右下「まきのむねのり 宗則」
平成元年度 購入 9064



3. F-20-4-2

牧野宗則 MAKINO, Munenori
1940~
なでしこの花 Pinks
1989 (平成 1)
多色木版 34.9×49.7
右下「まきのむねのり 宗則」
平成元年度 購入 9065



4. F-20-4-2

白 金男 BAIK, Kum-nam
1948~
国際野外彫刻シンポジウムポスター原画(魂シリーズより)
From a series of "Soul"
1987
シルクスクリーン 76.3×56.8
平成元年度 寄贈 9023



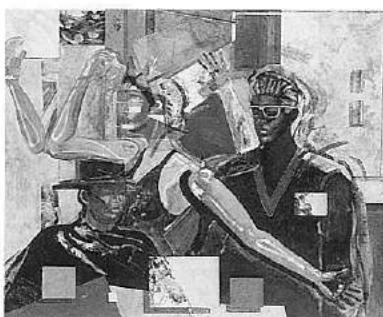
1. F-20-2-1

浜口和之 HAMAGUCHI, Kazuyuki
1965～
遠くへ Far away
1989(平成 1)
岩絵具・紙 162.0×130.5
平成元年度 管理換 9046



4. F-30-3

弟子丸マス子 DESHIMARU, Masuko
1934～
憩い Rest
1989(平成 1)
セッコウ H124.0
平成元年度 管理換 9048



2. F-20-3-1

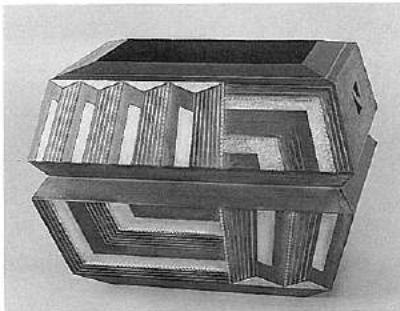
田崎一弘 TASAKI, Kazuhiro
1967～
遊楽図シリーズ「行動」
“Action” from a series of Pleasant motives
1989(平成 1)
油彩・キャンバス 130.5×162.0
平成元年度 管理換 9047



3. F-20-0

安永慎一 YASUNAGA, Shinichi
1906～
飛躍 Jump
1989(平成 1)
写真 55.9×42.7
平成元年度 管理換 9049

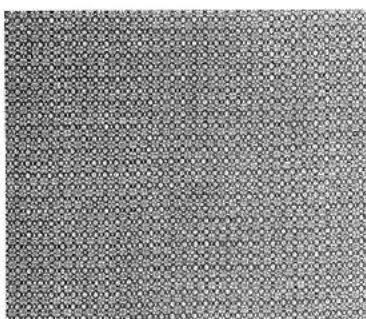
工芸



1. F-40-1
松尾忠次 MATSUO, Tadatsugu

1909～

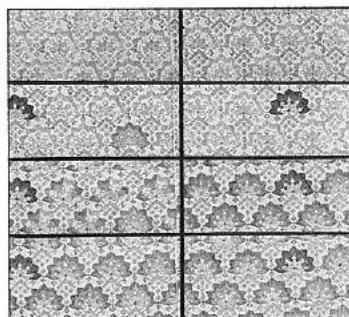
鉄地銀象嵌壺 Iron Vase : Inlaid Silver Design
1984(昭和59)
鉄・銀加飾 43.7×30.5×H 32.3
底彫銘「忠次作」
平成元年度 購入 9058



2. F-40-5
小宮康孝 KOMIYA, Yasutaka

1925～

江戸小紋着物 胡麻柄文(鍋島小紋)
Edo-Komon Kimono : Sesame pattern
1990(平成 2)
絹縮緬地 161.6×128.0
右衿下朱角印「康孝」
平成元年度 購入 9066



3. F-40-5
鈴田滋人 SUZUTA, Shigeto

1954～

制作工程：木版摺更紗松の花文(1組8裂)
Progress of Work : Woodblock-Stencil dyeing
1990(平成 2)
木綿地 41.0×37.0
木版型紙制作：鈴田照次1978
平成元年度 寄贈 6069



4. F-40-5
鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916～1981

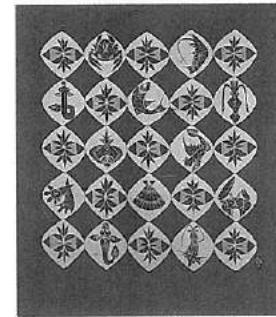
ロウケツ染壁掛 梅鶴
Wall-Hanging : Cranes by the Plum Blossom
1948, 49(昭和23, 24)
木綿地 139.3×92.5
左下「輝二」銘
平成元年度 寄贈 9044



5. F-40-5
鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916～1981

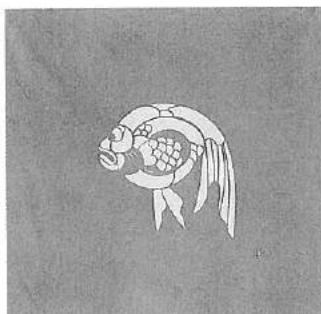
ロウケツ染壁掛 秋果
Wall-Hanging : Harvest in the Autumn
1948, 49(昭和23, 24)
木綿地 135.5×93.5
右下「輝二」銘
平成元年度 寄贈 9045



6. F-40-5
鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916～1981

ロウケツ染衝立 有明文
Screen: THE ARIAKE
1952(昭和27)
木綿地 94.8×84.8×H 105.0
右下「鈴」銘
平成元年度 寄贈 8946



7. F-40-5

鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916~1981

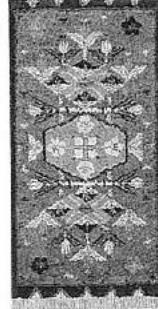
型絵染座蒲団 金魚 Cushion Cover : Goldfish

1964(昭和39)

木綿地 53.5×55.0

右下型絵染「鈴」

平成元年度 寄贈 9043



8. F-40-5

鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916~1981

鍋島緞通 松梅文

Nabeshima-Rug : Pine and Plum Blossom

1972(昭和47) デザイン、1989(平成元) 製作

木綿地 191.0×95.0

平成元年度 発生(製作委託) 9019



9. F-40-5

鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916~1981

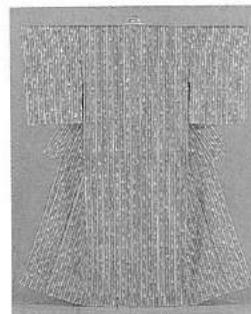
新鍋島緞通座蒲団 牡丹文(一組2枚)

Neo-Nabeshima-Rug Cushion : Peony

1972(昭和47) デザイン、1989(平成1) 製作

木綿地・刺繡式 50.0×50.5

平成元年度 寄贈 9020



10. F-40-5

鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916~1981

木版摺更紗着物 木立鳥文

Kimono : Birds in the Woods pattern

1973(昭和48)

絹上代紬地 164.0×133.0

平成元年度 購入 9054



11. F-40-5

鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916~1981

木版摺更紗着物 山果鳥文

Kimono : Smilax and Birds pattern

1980(昭和55)

絹上代紬地 170.5×135.0

平成元年度 購入 9052



12. F-40-5

鈴田照次 SUZUTA, Teruji

1916~1981

木版摺更紗着物 山茱萸文

Kimono : Dogwood pattern

1981(昭和56)

絹織子地 172.5×133.0

右袖朱角印「鈴」

平成元年度 購入 9053

3. 平成元年度 特別企画展（美術館） 鈴田照次－染色の旅－

主 催 佐賀県立美術館
会 期 平成元年 9月30日（土）～10月22日（日）
会 場 美術館 2・3・4号展示室

観覧料	大 人	大・高生	中・小生
個人	510円	250円	150円
団体	410円	150円	100円

図 錄 A4版変形 アート紙136頁（カラー48頁）

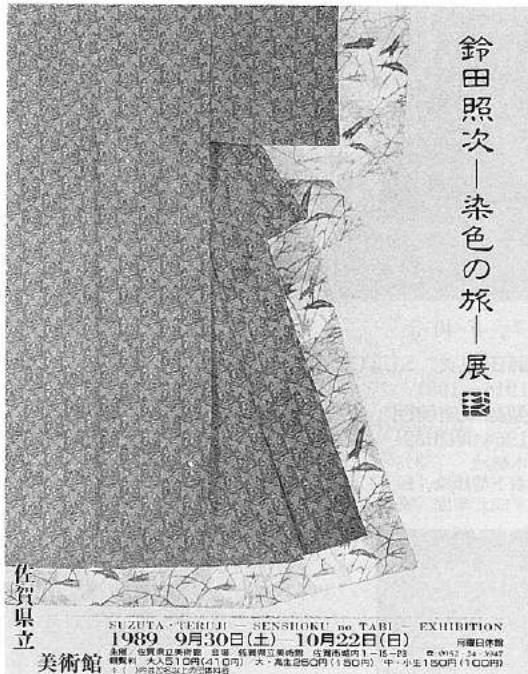
展示概要

郷土玩具のごみ人形の創始者として親しまれた鈴田照次（大正5～昭和56）は、沖縄の紅型、東南アジアの更紗の知識をもとに明治末年に絶えた鍋島更紗の復元に挑み、独自の木版摺更紗を創造、伝統工芸の世界で友禅や紬、絢の作家達と肩をならべる実力派の染色家として知られている。

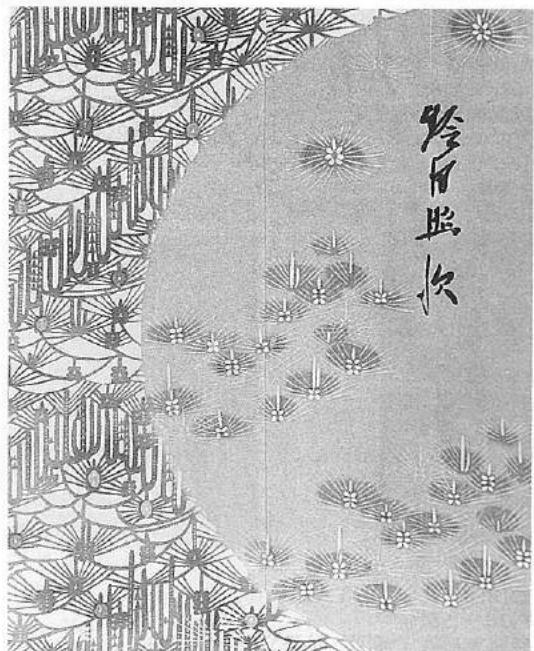
十年の歳月をかけて完成した木版摺更紗の世界で、新たな飛躍をこころみようとした矢先に病に倒れた作家の生涯を振り返ると、昭和20年代のロウケツ染めの時代、30年代の稻垣稔次郎の型絵染に魅せられた時代、そして伝統工芸出品品に始まる円熟と新たな木版摺更紗への挑戦の時代があった。

表現の可能性、工芸の多様性を追求した染色の旅、それが工芸家鈴田照次の美の完成を求めて続けた一生だったといえよう。

昭和56年の遺作となった2点の「木版摺更紗着物未央柳文」を中心に文化庁、東京国立近代美術館工芸館、京都国立近代美術館ほかの協力をえて着物42点、特別出品の全長14メートルの大作「型絵染壁画松観」など90件124点を一堂に展観して紹介した鈴田照次の染色の旅、ここで一人の作家が独自の工芸美を創作し、新たな伝統の美に挑戦していく道程を鑑賞いただけたと思う。



ポスター



図録

出品概要					
○着物	43領			○ロウケツ染・型絵染衝立	4基
木版摺更紗着物	14領			ロウケツ染衝立	2基
型絵染着物	29領			型絵染衝立	2基
○参考資料 型絵染初期の帯	3本			○型絵染額	2面
○型絵染壁画	1組			○絶筆墨絵軸	1幅
(15面 14.0m)				○和紙型絵染カレンダー原画	4組-26枚
○型絵染襷	6本			○色紙	5枚
(4面-5、2面-1)				○鍋島綾通ほか参考資料	1点1畳
○型絵染壁掛	2面			図案など1組-2点	
○ロウケツ染・型絵染屏風	12隻			○陶磁器	4点
ロウケツ染屏風	5隻			○能古見人形初期のモデル	2組-8点
型絵染屏風	6隻			(木製6点、土製2点)	
(うち風炉先屏風 2隻)				○ロウケツ染・型絵染団扇	1組-5本
木版摺更紗風炉先屏風	1隻			以上 展示総数は	93件125点
(風炉先屏風 1隻)					

出品目録

番号	作 品 名	制 作 年	素 材	員 数	所 �藏
1	木版摺更紗着物 未央柳文	昭和56年	絹紬地	1領	文化庁
2	木版摺更紗着物 未央柳文	昭和56年	絹縞子地	1領	佐賀県立美術館
3	木版摺更紗着物 山果鳥文	昭和55年	絹紬地	1領	
4	木版摺更紗着物 花文	昭和54年	絹縞子地	1領	東京国立近代美術館
5	木版摺更紗着物 麦穂文	昭和52年	絹紬地	1領	
6	木版摺更紗着物 芹花文	昭和52年	絹紬地	1領	京都国立近代美術館
7	木版摺更紗着物 とり文	昭和51年	絹紬地	1領	京都国立近代美術館
8	木版摺更紗着物 笹文	昭和50年	絹縞子地	1領	東京国立近代美術館
9	木版摺更紗着物 齒朶文	昭和49年	絹紬地	1領	福岡県立美術館
10	木版摺更紗着物 おだまき文	昭和49年	絹縞子地	1領	東京国立近代美術館
11	木版摺更紗着物 草穂文	昭和48年	絹紬地	1領	
12	木版摺更紗着物 松葉文	昭和48年	絹紬地	1領	佐賀県立美術館
13	木版摺更紗着物 ほととぎす文	昭和48年	絹紬地	1領	東京国立近代美術館
14	木版摺更紗着物 松文	昭和47年	絹紬地	1領	東京国立近代美術館
15	型絵染着物 麦圓文(◆後期展示)	昭和46年	絹紬地	1領	京都国立近代美術館
16	型絵染着物 もくまお文	昭和44年	絹縞子地	1領	
17	型絵染着物 華文	昭和44年	絹縞子地	1領	

番号	作 品 名	制 作 年	素 材	員 数	所 �藏
18	型絵染着物 球文	昭和44年	絹紬地	1領	
19	型絵染着物 菊渦文	昭和43年	絹紬地	1領	シルク博物館
20	型絵染着物 雨文(◆前期展示)	昭和43年	絹紬地	1領	
21	型絵染着物 夜香文	昭和42年	絹紬地	1領	東京国立近代美術館
22	型絵染着物 麦穂波文	昭和41年	絹紬地	1領	京都国立近代美術館
23	型絵染着物 枝垂梅文	昭和41年	絹紬地	1領	
24	型絵染着物 葦文	昭和40年	絹紬地	1領	
25	型絵染着物 みのり文	昭和39年	絹紬地	1領	
26	型絵染着物 草文	昭和39年	絹縮緬地	1領	東京国立近代美術館
27	型絵染着物 葦文	昭和38年	絹紬地	1領	
28	型絵染着物 松文	昭和37年	絹縮緬地	1領	東京国立近代美術館
29	型絵染着物 竹文	昭和36年	絹縮緬地	1領	東京国立近代美術館
30	型絵染着物 麦穂蝶文	昭和36年	絹縮緬地	1領	
31	型絵染着物 くれおめ文	昭和34年	絹縮緬地	1領	
32	型絵染着物 松梅文	昭和34年頃	絹縮緬地	1領	
33	型絵染着物 連翹文	昭和33年	絹紬地	1領	
34	型絵染着物 曼珠沙華文	昭和32年	絹紬地	1領	
35	型絵染着物 芋葉文	昭和31年	絹紬地	1領	佐賀県立美術館
36	型絵染振袖 松文	昭和32年頃	絹縮緬地	1領	
37	型絵染振袖 枝垂梅文	昭和39年頃	絹縮緬地	1領	
38	型絵染振袖 草穂文	昭和42年	絹縮緬地	1領	
39	型絵染振袖 枝垂梅文	昭和44年	絹縮緬地	1領	
40	型絵染振袖 草花文	昭和45年	絹縮緬地	1領	
41	型絵染振袖 松花文	昭和53年	絹縮緬地	1領	
42	型絵染留袖 群田鶴文	昭和45年	絹縮緬地	1領	
43	型絵染留袖 松文	昭和54年	絹縮緬地	1領	
44	型絵染帯 松菱文(松葉繫文)	昭和35年	絹縮緬地	1本	
45	型絵染帯 梅花文	昭和30年頃	木綿地	1本	
46	型絵染帯 梅花文	昭和33年	木綿地	1本	
47	型絵染襖 秋草(秋)	昭和29年秋	木綿地	1本 8面	
48	型絵染襖 海辺(冬)	昭和30年	木綿地	1本 8面	
49	型絵染襖 梅林(春)	昭和33年	木綿地	1本 8面	
50	型絵染襖 柳(夏)	昭和34年	木綿地	1本 4面	
51	型絵染襖 竹	昭和33年	木綿地	1本 4面	佐賀県立美術館
52	型絵染壁面 松観(老松)	昭和40年	絹紬地	15面	
53	型絵染襖 老松	昭和40年頃	木綿地	1本 4面	
54	型絵染屏風 秋惜譜	昭和56年3月	絹紬地	6曲 1隻	
55	型絵染屏風 竹林	昭和33年頃	木綿地	2曲 1隻	
56	型絵染屏風 面浮立	昭和40年頃	木綿地	4曲 1隻	
57	型絵染屏風 ラーマヤーナ	昭和41年	和紙(6面)	2曲 1隻	
58	型絵染壁掛 長崎オランダ坂	昭和32年	木綿地	1面	
59	型絵染壁掛 神の前一面浮立一	昭和36年	木綿地	1面	佐賀県立美術館
60	型絵染衝立 梅樹	昭和33年	木綿地	1基 2面	
61	型絵染衝立 錦波	昭和39年	木綿地	1基 2面	
62	型絵染額 祐徳稻荷神社	昭和32年	木綿地	1面	
63	型絵染風炉先屏風 泊舟	昭和33年頃	木綿地	2曲 1隻	

番号	作品名	制作年	素材	員数	所蔵
64	型絵染風炉先屏風 柳	昭和41年	木綿地	2曲1隻	
65	木版摺更紗風炉先屏風 菜果文	昭和53年頃	木綿地	2曲1隻	
66	ロウケツ染屏風 面浮立	昭和27年	木綿地	2曲1隻	
67	ロウケツ染屏風 網	昭和28年	木綿地	2曲1隻	
68	ロウケツ染屏風 面浮立	昭和25年頃	木綿地	4曲1隻	
69	ロウケツ染屏風 群鶴	昭和25-30年	木綿地	2曲1隻	
70	ロウケツ染屏風 朶	昭和25-30年	木綿地	4曲1隻	
71	ロウケツ染衝立 人参花	昭和25年頃	木綿地	1基2面	
72	ロウケツ染衝立 有明海	昭和27年	木綿地	1基2面	佐賀県立美術館
73	型絵染額 闘鶴	昭和43年	木綿地	1面	
74	墨絵軸 梅 —絶筆—	昭和56年8月	和紙	1幅	
75	色紙 白兎	昭和50年	色紙	1枚	
76	色紙 牛	昭和53年	色紙	1枚	
77	色紙 蟹	年代未詳	色紙	1枚	
78	色紙 牡丹	年代未詳	色紙	1枚	
79	色紙 椿	年代未詳	色紙	1枚	
80	和紙型絵染カレンダー 卯年	昭和49年	和紙	1組7枚	
81	和紙型絵染カレンダー 小城の風物詩	昭和50年	和紙	1組7枚	
82	和紙型絵染カレンダー 肥前風物詩	昭和51年	和紙	1組6枚	
83	和紙型絵染カレンダー 肥前の手工芸	昭和52年	和紙	1組6枚	
84	錆釉染付鶴図皿	昭和50年	磁器	1点	
85	吹墨色絵鮫図皿	昭和50年	磁器	1点	
86	吹墨面浮立図皿	昭和50年	磁器	1点	
87	染付群鶴図皿	昭和27年7月	磁器	1点	
88	能古見人形 面浮立	昭和20年頃	木製	1組4点	
89	能古見人形 鮫・カラス	昭和20年頃	木製	1組2点	
90	能古見人形 竹崎の鈴振人形・兎	昭和20年頃	白石の潟土	1組2点	
91	和紙ロウケツ染団扇・和紙型絵染団扇	昭和26年頃	和紙・竹	1組5本	
92	鍋島緞通 松梅文	平成元年製作	木綿地	1疊	佐賀県立美術館
93	鍋島緞通図案 松梅文	昭和47年	紙に彩色	1組2枚	



4. 企画展ならびにその他の展覧会 平成元年度

展 覧 会 名	会 期	主 催
第14回九州藍笥会かな書作展	4／11～4／16	九州藍笥会
第2回九州国画会佐賀支部写真展	4／26～4／30	九州国画会写真部
イメージの巨匠ピカソ石版画展	5／12～6／11	毎日新聞西部本社、佐賀県立美術館
第72回 佐賀美術協会展	6／17～6／25	佐賀美術協会、佐賀県立美術館
第6回 佐賀県写真協会展	6／28～7／2	佐賀県写真協会、佐賀県立美術館
第10回 二科会佐賀支部展	7／4～7／9	二科会佐賀支部、佐賀県立美術館
第14回 佐賀県書作家協会展	7／12～7／16	佐賀県書作家協会、佐賀県立美術館
第20回 独立C S 展	7／18～7／23	佐賀独立C S
第55回 東光展	7／25～7／30	東光会、佐賀新聞社、佐賀県立美術館
第17回 七夕書道展	8／2～8／6	佐賀県書道教育連盟、佐賀県立美術館
下平武敏作品展－白石平野より－	8／8～8／13	下平武敏
第9回 創元会佐賀県支部展	8／16～8／20	創元会佐賀県支部
第1回日韓交流デザイン工芸展	8／22～8／27	佐賀新聞社、九州新工芸家連盟、佐賀県立美術館
第10回九州新工芸展		
近代絵画の歩み－佐賀の画家たち－展	9／1～9／24	佐賀新聞社、佐賀県立美術館
美術館特別企画 鈴田照次－染色の旅－展	9／30～10／22	佐賀県立美術館
第39回 佐賀県美術展	11／3～11／12	佐賀県教育庁文化課、佐賀県立美術館
第13回 佐賀県高等学校 芸術祭美術・書道展	11／19～11／26	佐賀県教育庁文化課、佐賀県立美術館
第30回 佐賀県学童美術展	11／28～12／3	佐賀県造形教育研究会、佐賀県立美術館
第31回 佐賀大学教育学部 美術・工芸科総合展	12／5～12／10	佐賀大学教育学部、佐賀県立美術館
嶋田敏生－一心の旅－展	12／13～12／17	嶋田敏生
第10回 佐賀新聞学生書道展	12／20～12／24	佐賀新聞社
ドイツ・ロマン派絵画展	1／5～2／12	西日本新聞社、佐賀県立美術館
第12回 さが行動美術展	2／20～2／25	さが行動美術協会
第38回 佐賀大学教育学部 美術・工芸科卒業制作展	2／27～3／4	佐賀大学教育学部、佐賀県立美術館
グループ「きしま」第20回記念展	3／7～3／11	グループ「きしま」
第6回 水墨画会展	3／13～3／18	佐賀水墨画会
第4回 ハチロク展	3／21～3／25	グループ・ハチロク
第12回 二紀佐賀グループ展	3／27～4／1	二紀佐賀グループ

展 示 概 要	会 場
かな書作品約100点	美術館 4号
会員、会友、同人、支部員の写真約200点	美術館 4号
パリ、ムルロ工房秘蔵の200展を一挙に公開	美術館 2・3・4号
日本画、洋画、彫刻、工芸約450点	美術館 2・3・4号
協会員の写真作品約200点	美術館 4号
支部同人の油絵、デザイン、写真約100点	美術館 2・3・4号
会員・一般公募の書作品約200点	美術館 4号
独立系の洋画家たちの作品約40展	美術館 4号
東光会員、支部緑光会員の油絵約150点	美術館 2・3・4号
県下の児童生徒、高校生、一般の書作品	美術館 4号
独立系洋画家の油絵約30点	美術館 4号
第48回創元展出品の新作など約40点	美術館 4号
デザインと陶磁器・染織工芸約200点	美術館 2・3・4号
百武、久米、岡田らの秀作120点	美術館 2・3・4号
鹿島市の染色家・鈴田照次の遺作約100点を紹介	美術館 2・3・4号
日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン約450点	美術館 2・3・4号 (博物館 2・3号)
高校生の美術工芸・書作品約500点	美術館 2・3・4号 (博物館 2・3号)
幼児・小中学生の絵など約600点	美術館 4号
油絵、日本画、彫刻、デザイン、工芸110点	美術館 4号
磁器、水彩画、油絵、墨絵150点	美術館 4号
小・中・高校生の書道入選作約450点	美術館 4号
デュッセルドルフ美術館蔵の絵画約100点	美術館 2・3・4号
油絵、彫刻約30点	美術館 4号
油絵、日本画、彫刻、デザイン、工芸約70点	美術館 4号
会員の絵画、彫刻、工芸作品約60点	美術館 4号
会員による水墨画作品約80点	美術館 4号
会員約90名による総合美術展	美術館 4号
メンバーの油絵、彫刻35点	美術館 4号

5. 美術館観覧状況調べ 平成元年度

展 覧 会 名	個 人			団 体		
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小
第14回 九州藍筍会かな書作展	664	28		20		
第2回 九州国画会佐賀支部写真展	863	135	141			
イメージの巨匠ピカソ石版画展	5,687	976	1,282	93	885	2,596
第72回 佐賀美術協会展	3,497	508	432		179	1
第6回 佐賀県写真協会展	715	33	49		50	
第10回 二科佐賀支部展	726	33	80			160
第14回 佐賀県書作家協会展	874	10	35		255	
第20回 独立C S 展	605	70	51			30
第55回 東光展	1,527	274	285	37		1
第17回 七夕書道展	851	51	819			
下平武敏作品展	942	71	378			
第9回 創元会佐賀県支部展	730	55	181			
第10回 九州新工芸展 第1回日韓交流デザイン工芸展	1,293	41	173	70		20
近代絵画の歩み —佐賀の洋画家たち—展	6,214	432	898	138	854	370
企画展 鈴田照次—染色の旅—展	1,819	71	81	138	94	
第39回 佐賀県美術展	3,941	299	503	639	246	252
第13回 佐賀県高等学校芸術祭 美術・書道展	847	587	48	224	939	119
第30回 佐賀県学童美術展	1,740	183	1,161	26	156	607
第31回 佐賀大学教育学部 美術・工芸科総合展	551	141	79			
嶋田敏生一心の旅一展	368	5	21			
第10回 佐賀新聞学生書道展	195	25	96			
ドイツ・ロマン派絵画展	10,228	1,393	1,351	105	813	761
第12回 さが行動美術展	445	30	64			13
第38回 佐賀大学教育学部 美術・工芸科卒業制作展	506	277	108			34
グループ「きしま」第20回記念展	727	29	50			
第6回 佐賀水墨画会展	1,215	20	37	14		
第4回 ハチロク展	886	50	128		30	24
第12回 二紀佐賀グループ展	407	50	87			
計	49,063	5,877	8,618	1,504	4,501	4,988

観 覧 料 免 除			招 待 者	優 待 者	合 計	開 館 日 数	一 日 平 均	会 期 期 間
大 人	大・高	中・小						
			1		713	6	119	4／11～4／16
					1,139	5	228	4／26～4／30
			4,346		15,865	27	588	5／12～6／11
					4,617	8	577	6／17～6／25
					847	5	169	6／28～7／2
					999	6	167	7／4～7／9
					1,174	5	234	7／12～7／16
					756	6	126	7／18～7／23
			1,955		4,079	6	680	7／25～7／30
			3		1,724	5	345	8／2～8／6
					1,391	6	232	8／8～8／13
					966	5	193	8／16～8／20
					1,597	6	266	8／22～8／27
			4,441		13,347	21	636	9／1～9／24
			1,322		3,525	20	176	9／30～10／22
			995	1,409	8,284	9	920	11／3～11／12
					2,764	7	121	11／19～11／26
			58		3,931	6	117	11／28～12／3
					731	6	122	12／5～12／10
					394	5	79	12／13～12／17
					316	5	63	12／20～12／24
			6,431	62	21,144	34	622	1／5～2／12
					552	6	92	2／20～2／25
					925	6	154	2／27～3／4
					806	5	161	3／7～3／11
					1,286	6	214	3／13～3／18
					1,118	5	224	3／21～3／25
					544	6	91	3／27～4／1
			19,552	1,471	95,534	243	393	

6. 普及活動

(1) 資料の刊行

館報・年報・調査研究書 博物館と合同で刊行した。

図録 「鈴田照次－染色の旅－展」の項を参照のこと。

(2) 実技講座：石膏デッサン教室

講 師 山田直行氏 佐賀女子短期大学教授

会 期 平成元年 7月25日～7月30日

(但し、28日は休講)

14:00～16:00

会 場 佐賀県立美術館画廊・研修室

受講者 31名

7. 資料調査

平成元年

5月12日 第42回美術史学会全国大会（～15日）学芸員 福井尚寿

5月30日 佐賀県立美術館特別企画「鈴田照次－染色の旅－展」に伴う調査（嬉野町、鹿島市、佐世保市、小浜町）学芸員 宮原香苗（～6月1日）

6月3日 「ヴァチカン美術館特別展」会場式出席（福岡市博物館）館長 出和人 学芸員 松本誠一

6月5日 佐賀県立美術館特別企画「鈴田照次－染色の旅－展」に伴う調査（牛津町、佐賀市、福岡市、鹿島市、太良町）学芸員 宮原香苗（～9日）

6月16日 ノ（鹿島市、諫早市）

6月23日 「近代洋画の歩み展」に伴う調査（京都、東京）学芸員 松本誠一

7月4日 佐賀県立美術館特別企画「鈴田照次－染色の旅－展」に伴う調査（鹿島市）学芸員 宮原香苗

7月17日 ノ（東京都、横浜市）～19日

10月12日 九州博物館協議会研修会（～13日・熊本市）主査 楠美智子 学芸員 福井尚寿

11月25日 「わが郷土の秘蔵品展」（長崎県立美術博物館）学芸員 松本誠一

12月2日 九州芸術学会（山口県立美術館）学芸員 松本誠一・竹下正博

平成2年

3月2日 鍋島紀雄作品調査（東京芸術大学芸術資料館）学芸員 松本誠一

8. ホール・画廊・研修室催しもの

美術館ホール利用状況

月別	利用団体数	延入場者数	音 楽	演 劇	洋舞・邦舞	映写会	その他	備 考
4	11	4,057	8			1	2	
5	14	5,174	9	1		1	3	
6	10	3,903	7			2	1	
7	12	6,575	8	1			3	
8	13	3,829	7			3	3	
9	15	5,771	9	1		1	4	
10	14	4,677	8	1			5	
11	11	6,814	4	3		1	3	
12	11	3,068	6	2	1		2	
1	9	2,482	5		1	1	2	
2	13	4,218	7		1	1	4	
3	12	3,474	9	1	1		1	
計	145	54,042	87	10	4	11	33	

画廊・研修室の利用状況

月別	展覧会			そ の 他
	利用団体数	延会期日数	入場者数	
4	3	18	633	1. 研究会 2回(デッサン教室等)
5	3	18	1,389	2. 展覧会準備・控室 2回
6	1	2	345	3. ホール催物控室 4回
7	1	5	465	
8	4	13	935	
9	3	19	2,042	
10	2	10	1,081	
11	3	13	553	
12	3	18	1,758	
1	3	15	1,376	
2	4	18	3,300	
3	4	23	2,112	
計	34	172	15,989	計 8回

資料の概要 —平成元年度・美術館—

1. 購入資料

作家名・作品名	制作年	数量	規格	備考
美術資料				
中沢弘光 奈良公園	1920	1	61.0 × 80.5	油彩・画布
中沢弘光 婦人像	1957	1	33.0 × 23.2	油彩・板
楳崎重視 ひととき	1981	1	130.9 × 162.2	油彩・画布
中原英彦 女体	1962	1	162.7 × 130.7	油彩・画布
高橋由一 歴史図	不詳	1	8.9 × 13.9	水彩・絹
古沢岩美 「龍巖洞」	1946	1	31.5 × 40.9	油彩・キャンバス
古沢岩美 「ほおずきと遊蝶花」	1959	1	31.8 × 40.9	油彩・キャンバス
中沢弘光 「舞妓」	1959頃	1	44.8 × 37.5	油彩・キャンバス
小代為重 「スエズ地峡入口」	1900	1	18.5 × 28.3	油彩・板
小代為重 「スエズ運河」	1900	1	21.3 × 30.3	油彩・キャンバス
小代為重 「婦人像」	昭和初頃	1	32.9 × 28.4	油彩・板
小代為重 「上野毛風景」	昭和初頃	1	18.8 × 23.4	油彩・キャンバス
小代為重 「近江八景」	不詳	1	23.6 × 33.0	油彩・板
小代為重 「自宅の庭」	昭和初頃	1	33.0 × 23.9	油彩・板
高木背水 「入江風景」	不詳	1	23.9 × 33.0	油彩・板
小代為重 「富士山」	1925	1	30.4 × 54.5	油彩・画布
牧野宗則 「有明天界」	1989	1	73.5 × 49.7	多色木版
牧野宗則 「光明」	1989	1	49.2 × 74.0	多色木版
牧野宗則 「なでしこの花」	1989	1	34.9 × 49.7	多色木版
小栗潮 「石の花」	1984	1	227.3 × 167.5	岩絵具
工芸資料				
鈴田照次 木版摺更紗着物 山果鳥文	1980	1	袴67.5 × 着丈170.0 × 袖丈57.5	絹紬地
鈴田照次 木版摺更紗着物 山茱萸文	1981	1	袴66.5 × 着丈172.5 × 袖丈63.5	絹繻子地
鈴田照次 木版摺更紗着物 木立鳥文	1973	1	袴66.5 × 着丈164.0 × 袖丈58.5	絹上代紬地
松尾忠次 金工 鉄地銀象嵌壺	1984	1	口径28.2 × 腹径43.7 × 高さ32.3	鉄・銀加飾
小宮康孝 江戸小紋着物 胡麻柄文	1990	1	袴68.0 × 着丈165.0 × 袖丈53.0	絹縮緬地
鈴田照次デザイン 鍋島綬通 松梅文	1989	1	191.0 × 95.5	木綿・手織(複製)

2. 寄贈資料

作家名・作品名	制作年	数量	規格	寄贈者
美術資料				
楳崎重視 牛と子ども	1978	1	138.4 × 131.0 油彩・画布	東京都田無市南町2-9-35 楳崎重視
楳崎重視 飛鳥路春煙	1981～82	1	72.0 × 80.8 油彩・画布	東京都田無市南町2-9-35 楳崎重視
楳崎重視 牧童	1980～83	1	80.4 × 116.7 油彩・画布	東京都田無市南町2-9-35 楳崎重視

檜崎重視 野仏	1983	1	72.8 × 53.2 油彩・画布	東京都田無市南町2-9-35 檜崎重視
中原英彦 婦人像	1941	1	116.9 × 80.8 油彩・画布	東京都府中市武蔵台3-22-5 中原久子
中原英彦 横たわる二人	1982	1	113.2 × 145.6 油彩・画布	東京都府中市武蔵台3-22-5 中原久子
白金勇 魂シリーズより	1987	1	76.3 × 56.8 シルクスクリーン	ソウル市 白金男
小代為重 雪景	1927	1	32.9 × 23.3 油彩・板	福岡市博多区吉塚3丁目 小代忠男
北島浅一 「坐裸婦」	1927	1	72.6 × 60.5 油彩・キャンバス	佐賀市本庄町鹿子 久富邦夫
福井沢太 「保津川下り」	1979	1	55.0 × 39.6 岩絵具・紙	京都市北区衣笠街道町20 福井沢太
福井沢太 「新緑の嵐山」	1986	1	54.5 × 39.4 岩絵具・紙	京都市北区衣笠街道町20 福井沢太
池田玄陽 一字書「寛」	1969	1	134.9 × 67.7 紙本	唐津市菜畑4045-1 池田玄陽
福井沢太 「硫黄山」	1965頃	1	146.0 × 106.0 岩絵具・紙	京都市北区衣笠街道町20 福井沢太
小栗潮 「鶏頭」	1966	1	117.0 × 80.5 岩絵具	東京都東大和市狭山2-1285-4 小栗潮
小栗潮 「山湖」	1987	1	28.3 × 40.3 岩絵具	東京都東大和市狭山2-1285-4 小栗潮
工芸資料				
鈴田照次 ロウケツ染衝立 有明文	1952	1	100.0 × 91.5 木綿地・木製	小城郡小城町419 森永惣吉
鈴田照次 デザイン 新鍋島座蒲団 牡丹文	1989	1	50.5 × 50.5 木綿	福岡県久留米市御井町矢取2376 (有)吉島敷物
鈴田照次 型絵染座蒲団 金魚	1964	1	53.5 × 55.0 木綿地	鹿島市行成 谷口イキ
鈴田照次 ロウケツ染壁掛 梅鶴	1948～49	1	139.3 × 92.5 木綿地	東京都目黒区東ヶ丘2-14-11 貝島百合子
鈴田照次 ロウケツ染壁掛 秋果	1948～49	1	135.5 × 93.5 木綿地	東京都目黒区東ヶ丘2-14-11 貝島百合子
木版摺更紗 松の花文 制作工程	1990	1組	41.0 × 37.0 (8裂)木綿地	鹿島市大字山浦甲1524 鈴田滋人

3. 管理換資料

作家名・作品名	制作年	数量	規 格	備 考
中野澄子「秋菜」	1983	1	161.5 × 129.7 岩絵具・紙	日本画
先崎民憲「室内にて」	1983	1	162.0 × 130.5 油彩・キャンバス	洋画
宮地亨「商工会館風景」		1	161.0 × 97.0 油彩・キャンバス	洋画
浜口和之「遠くへ」		1	162.0 × 130.5 岩絵具・紙	日本画
田崎一弘「行動」		1	130.5 × 162.0 油彩・画布	洋画
弟子丸マスコ「憩い」		1	等身 石膏	彫刻
安永真一「飛躍」		1	55.9 × 42.7	写真

4. 寄託資料

資料名	数量	寄託者
鈴田照次「型絵染壁画 松觀」	1組	佐世保市 個人

5. 資料の貸出状況

資料等	貸出先・目的	貸出・返却
黒田清輝作 「画室内」・「小代為重像」	茨城県立近代美術館 「近代日本洋画の巨匠・黒田清輝展」	元. 4. 22～6. 16
百武兼行作 「タンパリンを持つ女」	神奈川県立近代美術館 岡山県立美術館 「松岡寿展」	元. 9. 26～11. 7

佐賀県博物館及び美術館協議会

委員名簿（定数 14名）

任期：昭和63. 7. 25～平成2. 7. 24

区分	氏 名	役 職 名	住 所
社会 学校 教育 関係者	野 方 辰 美	佐賀県公民館連合会副会長	〒846 多久市東多久町大字別府6416
	古 賀 渡*	佐賀県高等学校長協会代表 (唐津北高校長)	〒847-03 東松浦郡呼子町殿ノ浦1101-5
	龍 野 和 博*	佐賀県小中学校長会代表 (松梅中校長)	〒840-05 佐賀郡大和町大字八反原561
	旗 崎 博*	佐賀県理科教育振興会代表 (新栄小校長)	〒840 佐賀市伊勢町18-14
学 識 経 験 者	松 本 シゲノ	佐賀県地域婦人連絡協議会会长	〒840 佐賀市嘉瀬元町2078
	大 塚 巖	佐賀県文化団体協議会会长	〒840 佐賀市本庄町本庄宮前1137-23
	吉 田 進 一	佐賀美術協会理事長 (九州龍谷短大教授)	〒840-22 佐賀郡川副町犬井道47
	西 山 正 彦*	佐賀県議会議員 (文教厚生常任委員会委員)	〒841 鳥栖市本鳥栖町570
	三 好 不二雄	佐賀大学名誉教授	〒840 佐賀市赤松町11-11
	西 谷 正	九州大学文学部教授	〒813 福岡市東区千早6丁目1-914
	深 川 善 次	佐賀大学教育学部教授	〒840-23 佐賀郡川副町南里557-3
	米 倉 利 昭	佐賀大学教育学部教授	〒840 佐賀市赤松町7-13-302
	錦 織 亮 介	北九州大学文学部教授	〒811-02 福岡市東区高美台1-443
	川 原 洋 文*	佐賀新聞社編集局長	〒840 佐賀市本庄町袋140-11

(注) * 任期：平成元年 6. 21～平成2年 7. 24

佐賀県博物館及び美術館協議会開催状況

○平成元年 7月21日

- 議 題 (1)平成元年度予算について
- (2)平成元年度事業について
- (3)その他

○平成2年 3月16日

- 議 題 (1)平成2年度予算について
- (2)平成2年度事業計画について
- (3)その他

博物館・美術館職員名簿 (平成2年4月1現在)

課名	職名	氏名	課名	職名	氏名
	館長	出和人		学芸課長	樋渡敏暉
副館長 (課長事務取扱)		井上昭利	学芸係長	宮崎武夫	
副館長		尾形善郎	学芸員	松本誠一	
総務管理係	庶務管理係長	古賀栄二	学芸員	蒲原宏行	
	主査	古川宣明	学芸員	竹下正博	
	主査	楠美智子	非常勤嘱託	浜野四郎	
	主事	古澤貞善	専門員 (係長事務取扱)	木下巧	
	主事	石井康芳	主査 (学芸員)	宮原香苗	
	事務員	坂井卓次	学芸員	福井尚寿	
	事務員	小石武彦	学芸員	山崎和文	
	技術員	戸川内匠			
	非常勤嘱託	牟田壽吉			
計 22名					

佐賀県立博物館 年報 第20号
佐賀県立美術館

発行年月日 平成2年9月1日

編集・発行 〒840 佐賀市城内1-15-23

Tel 0952-24-3947

佐賀県立博物館
佐賀県立美術館

印刷 有限会社大同印刷